

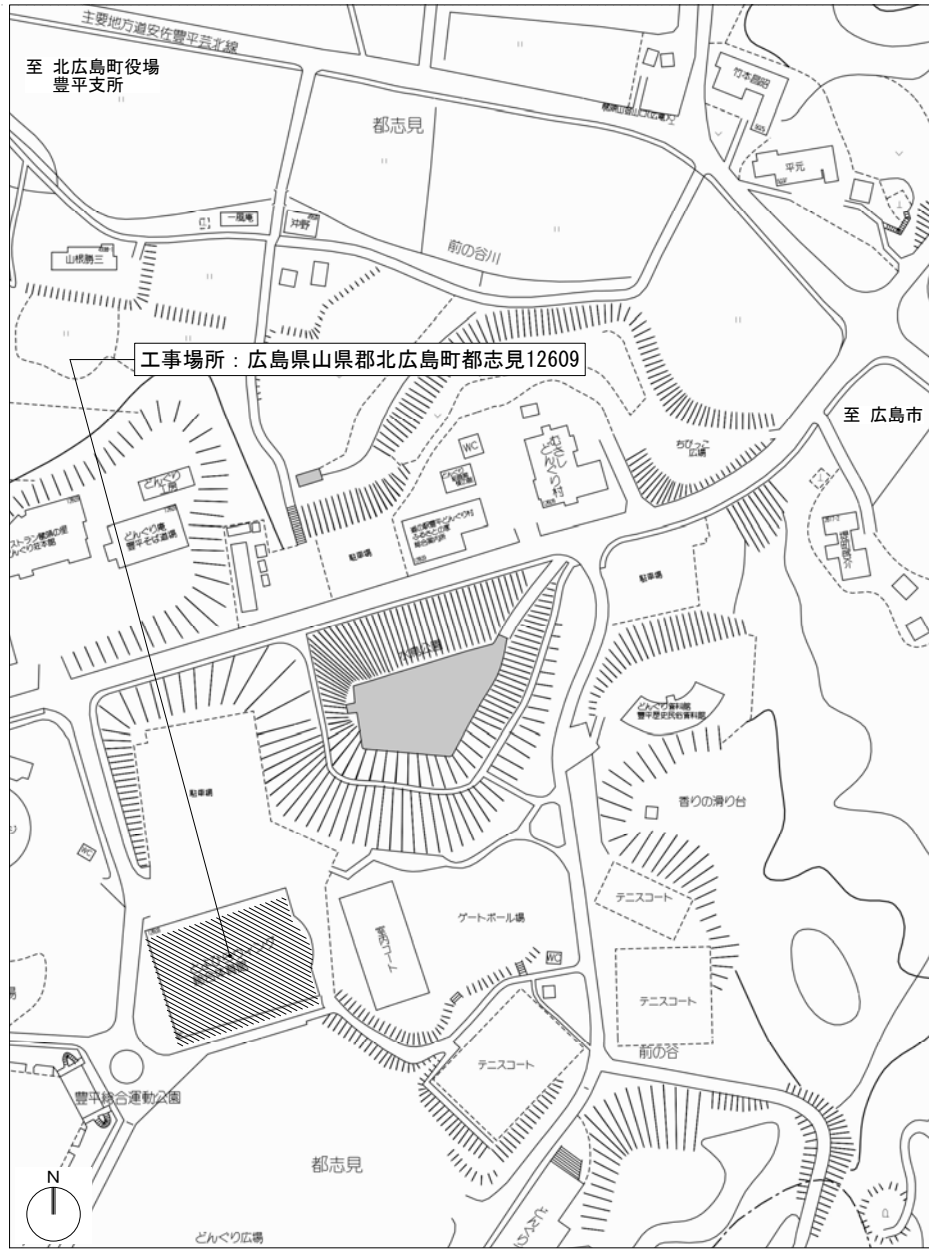
豊平ウイング屋根改修工事

図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称
A-01	建築改修工事 特記仕様書 1	E-01	電気設備工事 特記仕様書						
A-02	建築改修工事 特記仕様書 2	E-02	避雷設備 屋根伏図						
A-03	建築改修工事 特記仕様書 3	E-03	避雷設備 立面図						
A-04	建築改修工事 特記仕様書 4								
A-05	建築改修工事 特記仕様書 5								
A-06	建築改修工事 特記仕様書 6								
A-07	建築改修工事 特記仕様書 7								
A-08	建築改修工事 特記仕様書 8								
A-09	付近見取図、配置図								
A-10	設計概要、外部仕上表								
A-11	1 階平面図								
A-12	2 階平面図								
A-13	3 階平面図								
A-14	屋根伏図								
A-15	立面図 1								
A-16	立面図 2								
A-17	断面図								
A-18	断面詳細図 1								
A-19	断面詳細図 2								
A-20	屋根要領図、内樋詳細図								
A-21	部分詳細図								
A-22	トラス全体図 1								
A-23	トラス全体図 2								
A-24	梁、母屋伏図								
A-25	仮設計画図 配置図(案)								
A-26	外部足場図(参考) 3 階平面図								
A-27	外部足場図(参考) 屋根伏図								
A-28	外部足場図(参考) 立面図 1								
A-29	外部足場図(参考) 立面図 2								
A-30	屋根足場図(参考) 立面図 2								
A-31	外部足場図(参考) 断面図								
A-32	外部足場図(参考) 断面詳細図 1								
A-33	外部足場図(参考) 詳細図								

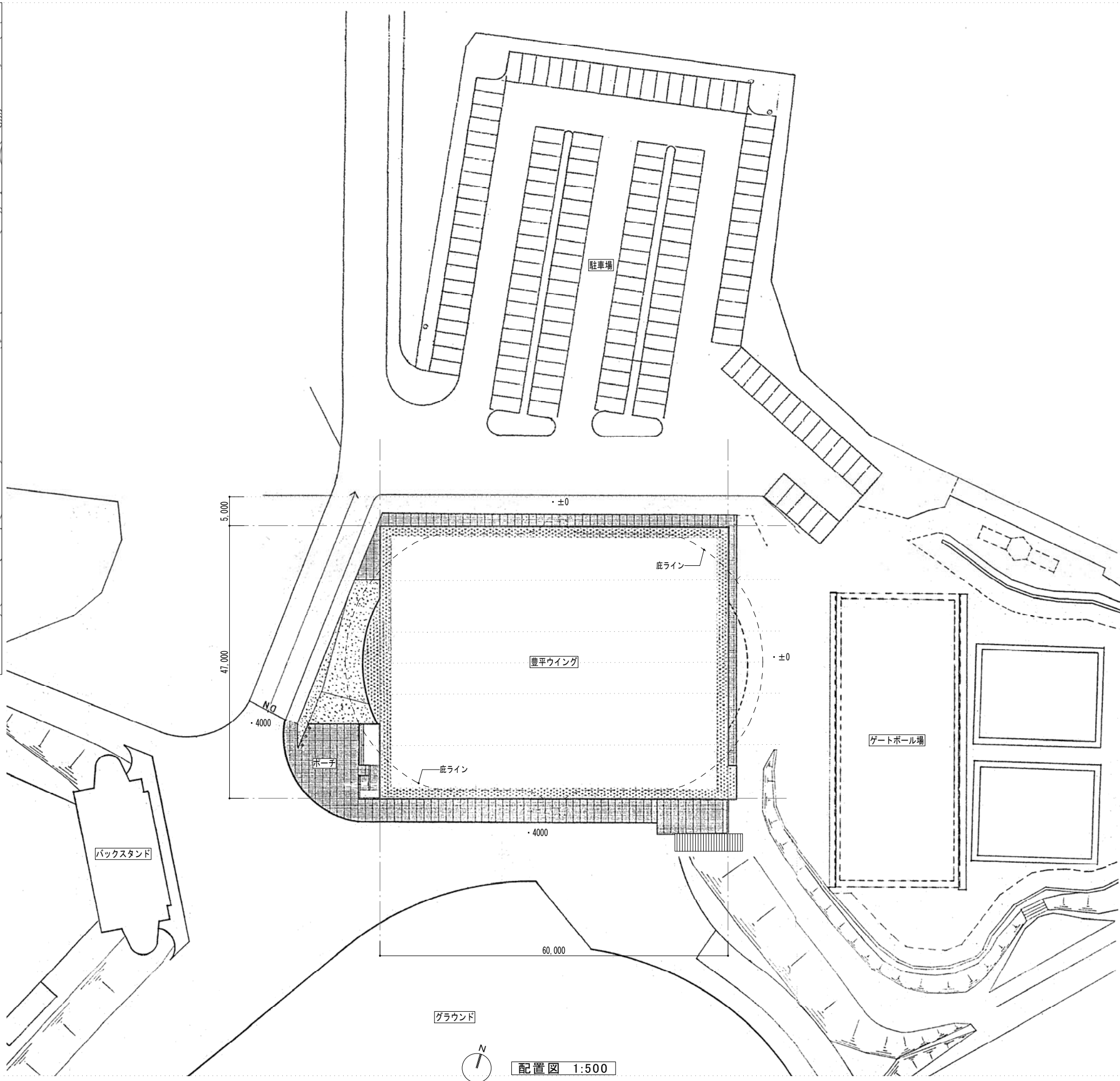
[illegible]

[illegible]

[illegible]



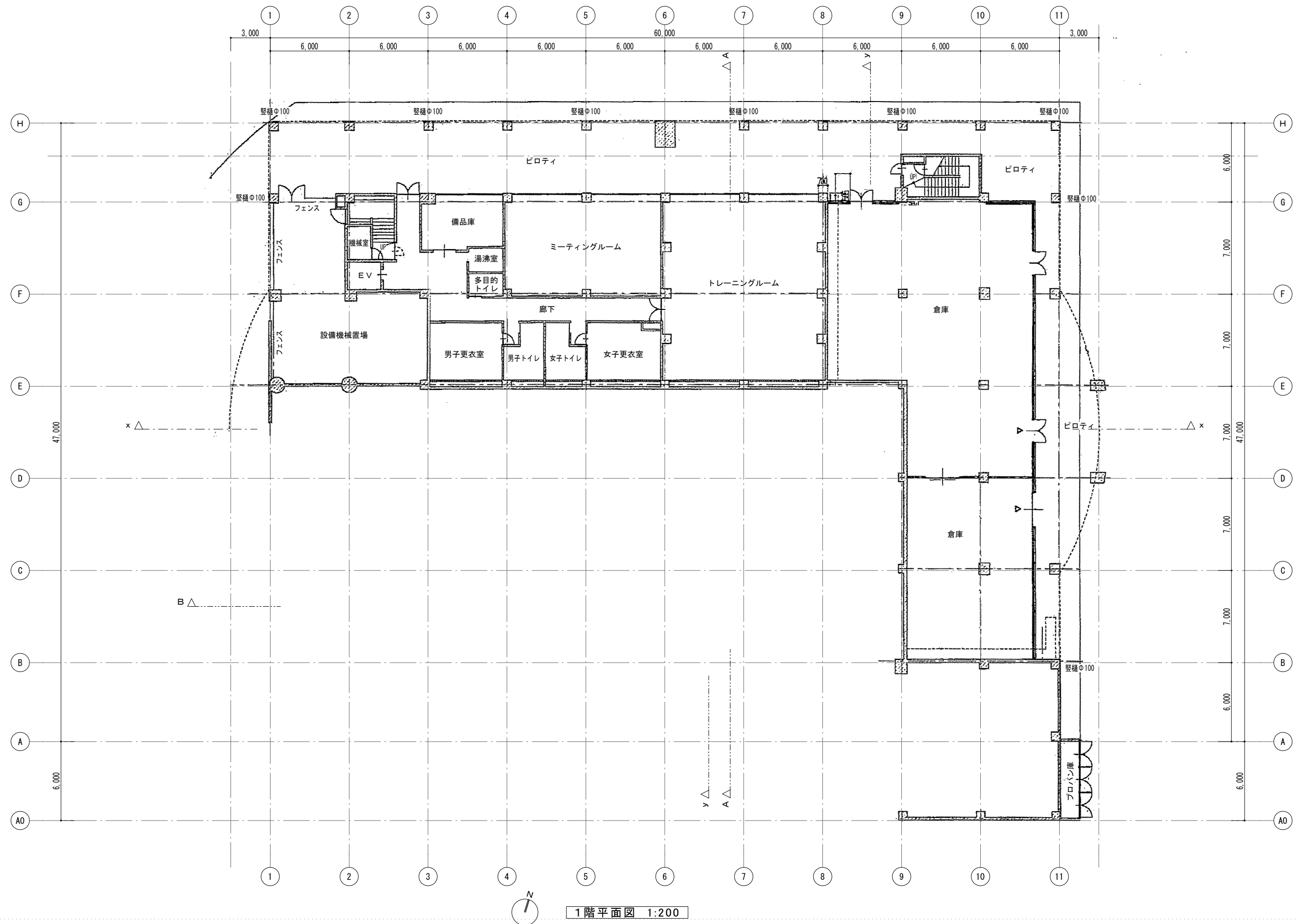
付近見取図

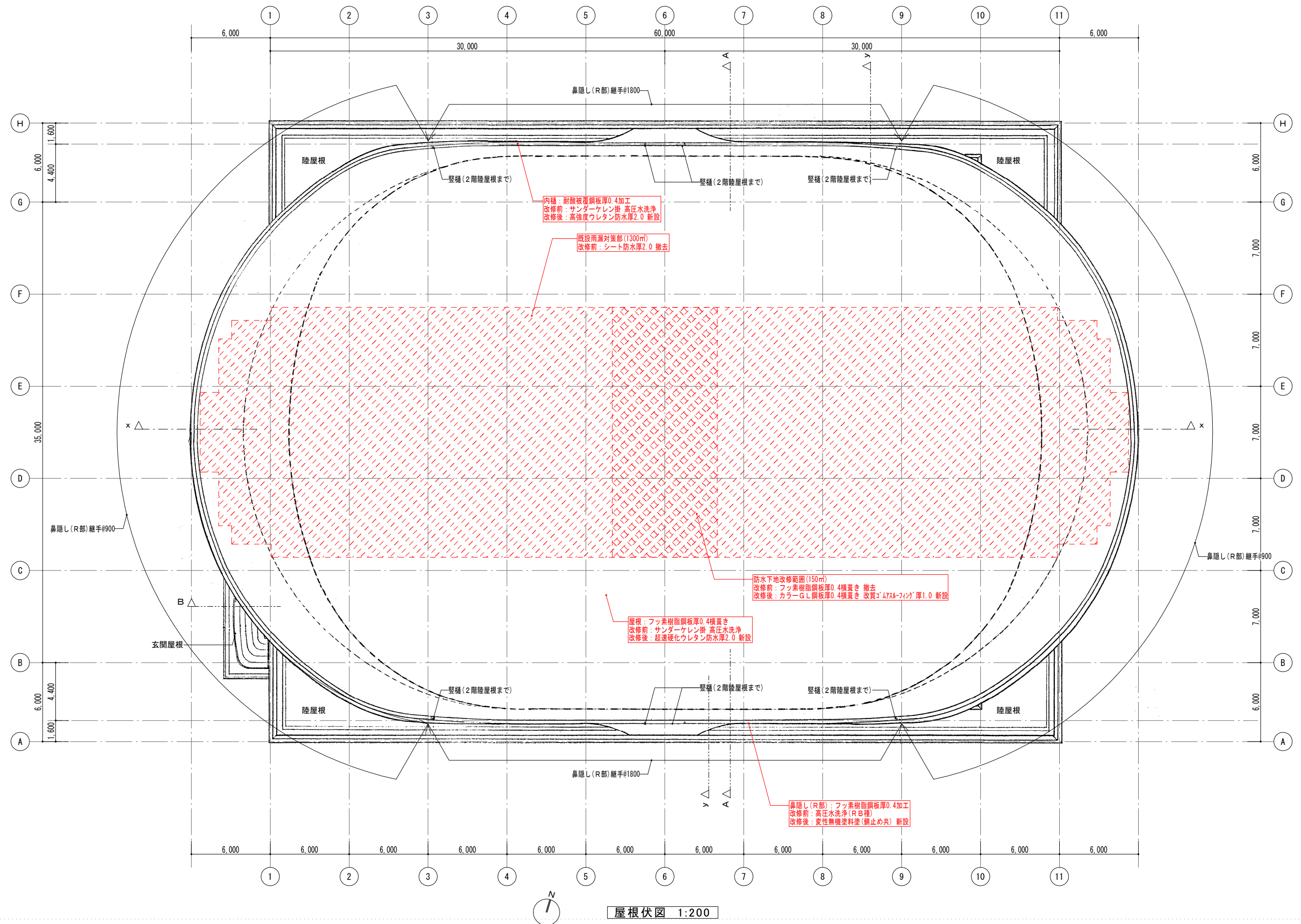


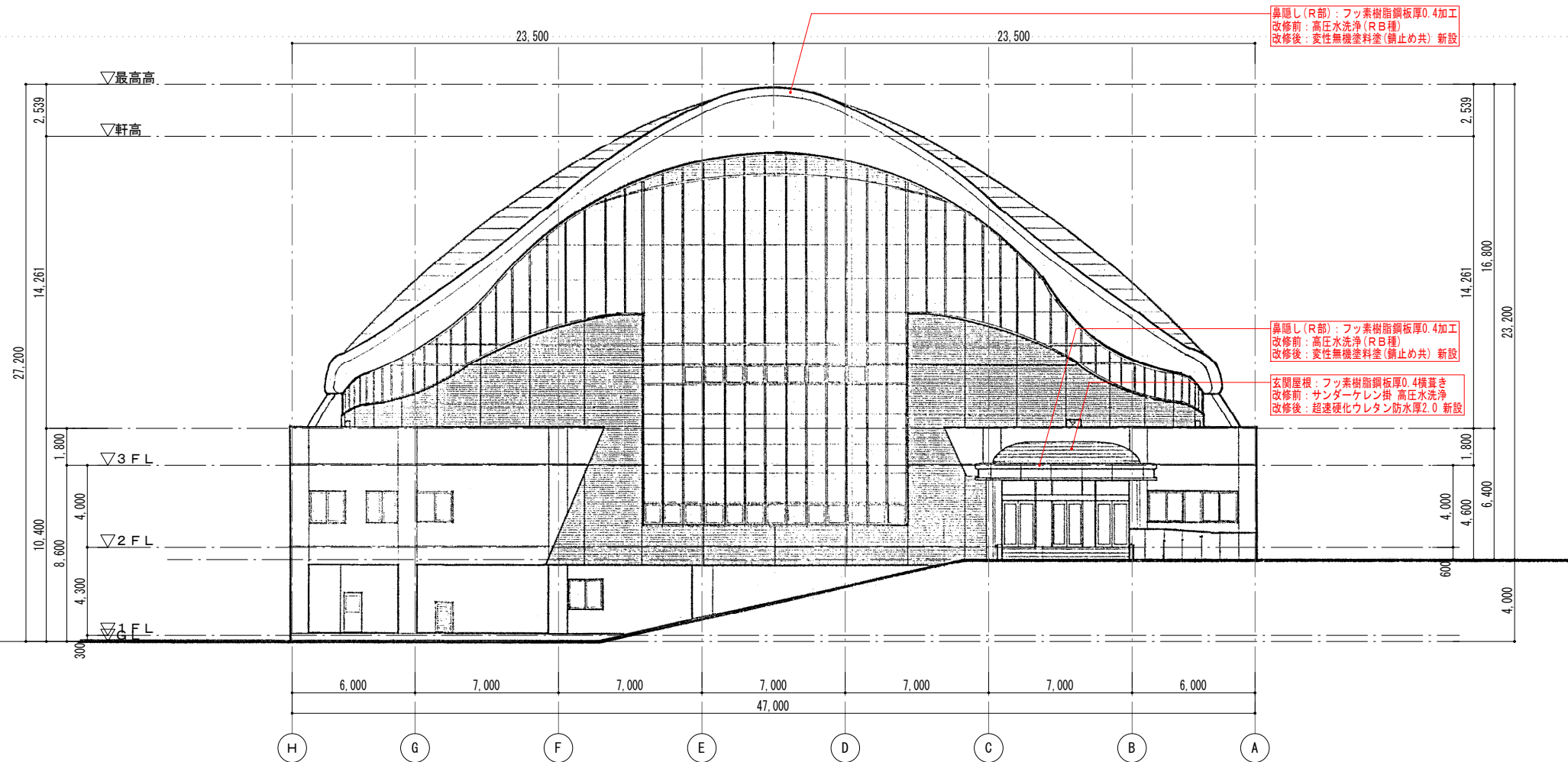
配置図 1:500

計 画 概 要		凡 例		防 火 性 能 認 定 番 号		特 記 事 項	
建物概要		一 般	C M G L				1. 特記なき限り、撤去する周囲にはカッター入を行う。 2. 内部仕上表の下地欄（ ）は既設部分を示す。 3. 4. 5. 6. 7. 8.
建築主 建築主住所	北広島町長 〒731-1595 広島県山県郡北広島町有田1234						
敷地の場所 敷地面積 前面道路 用途地域 防火地域 その他区域	〒731-1712 広島県山県郡北広島町都志見12609 ㎡ 前面道路：m 都市計画区域内外 指定なし 宅地造成工事規制区域			C L V P			
施設名称 建物用途 面積	とよひらウイング 建築基準法：体育館 建築面積：3015.49㎡ 延床面積：4068.42㎡ (1階：542.84㎡、2階：2865.62㎡、3階：559.96㎡)	ボ ー ド 類	塗 装				参考品番
構造 建物高さ 建蔽率 容積率 その他	R C造 2階建て 準耐火建築物 軒高：10.10m、最高高さ：26.95m -% ≤ -% -% ≤ -% 建設：1996年(平成8年)3月						屋根 鼻隠し
工事概要		シ ー リ ン グ	SR-1 SR-2 MS-2 PU-2 PS-2	▽ ▼	仕上見切を示す シーリングを示す		石綿含有建材
1. 鋼板屋根の雨漏り改修 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9.							該当なし
							石綿事前調査者：AK建築設計事務所 小泉満(修了番号：2306220711、講習機関名：SAT株式会社)
外 部 仕 上 表 (改 修 前 ・ 後)							
部 位	改 修 前		改 修 後		部 位	改 修 前	改 修 後
屋根	フッ素樹脂鋼板厚0.4横葺き、裏面ポリフォーム厚4 サングラス掛(RB種) 高圧水洗浄 改質ゴムアスルーフィング下葺き 既設のまま 野地板：硬質木片セメント板厚15 既設のまま 既設漏水対策部：シート防水厚2.0 撤去 防水下地改修部：フッ素樹脂鋼板厚0.4横葺き 改質ゴムアスルーフィング 撤去		超速硬化ウレタン防水厚2.0(フッ素系高反射トップコート) 新設 継手・段差・雪止め・避雷針取付金具：PU-2 10×10 新設 防水下地改修部：カラーGL鋼板厚0.4横葺き(防水下地用)、裏面ポリフォーム厚4 新設		排煙ハッチ ハト小屋 柱架台	排煙ハッチ：アクリル樹脂ドーム 既設のまま アゴ・天端：防水M金コテ 高圧水洗浄 壁取合い：シーリング 撤去	アゴ・天端：高強度ウレタン防水厚2.0(フッ素系高反射トップコート) 新設 壁取合い：PU-2 20×15 新設
樋	内樋：耐酸被覆鋼板厚0.4加工 硬質木片セメント板厚15下地 サングラス掛(RB種) 高圧水洗浄 内樋(玄関屋根)：SUS厚0.4 シームレス工法 硬質木片セメント板厚15下地 鼻隠し(R部)：耐酸被覆鋼板厚0.4加工 高圧水洗浄(RB種) 壁樋：3階 OP Φ150(見え掛)、3階 SUSHLΦ125 既設のまま 1～2階 SUSHLΦ100 既設のまま		内樋：高強度ウレタン防水厚2.0(フッ素系高反射トップコート) 新設 継手@1800(R部 @900)：PU-2 10×10 新設 鼻隠し(R部)：変性無機塗料塗(錆止め共) 新設		シーリング	鼻隠し(R部)継手@1800(R部 @900)：20×15 撤去 内樋立上り取合い：20×15 撤去	鼻隠し(R部)継手@1800(R部 @900)：PU-2 20×15 新設 内樋立上り取合い：PU-2 20×15 新設
陸屋根	平場：シート防水 As防水 既設のまま 立上り：シート防水 押え金物 既設のまま				ポーチ	床：磁器質タイル 既設のまま 巾木：花崗岩本磨H120 既設のまま 壁：撥水剤塗 タイル貼り 既設のまま 天井：アルミスバンドレル LGS下地 既設のまま 段部分縁笠：花崗岩本磨 既設のまま	
プロバン庫屋根	フッ素樹脂鋼板厚0.6 既設のまま				ピロティ	床：歩道ブロック、一部C金コテ 既設のまま 天井：C打放し、VP 一部セメント板厚5 既設のまま	
玄関屋根	フッ素樹脂鋼板厚0.4横葺き(美段ルーフ9) M下地 サングラス掛(RB種) 高圧水洗浄 内樋(玄関屋根)：SUS厚0.4 シームレス工法 硬質木片セメント板厚15下地		超速硬化ウレタン防水厚2.0(フッ素系高反射トップコート) 新設 継手・段差・雪止め：PU-2 10×10 新設 鼻隠し(R部)：変性無機塗料塗(錆止め共) 新設		搬入出ステージ	床：C直均し 既設のまま 壁：撥水剤 C打放し 既設のまま 天井：VP 石綿セメント板厚5 既設のまま	
軒裏	カラー鉄板厚0.6パネル 既設のまま						
外壁	撥水剤塗、C打放し(化粧目地、伸縮目地共) 既設のまま 磁器質口45モザイクタイル貼り(伸縮目地共) 既設のまま 倉庫：CL 杉板貼り ALC下地						
根廻り							

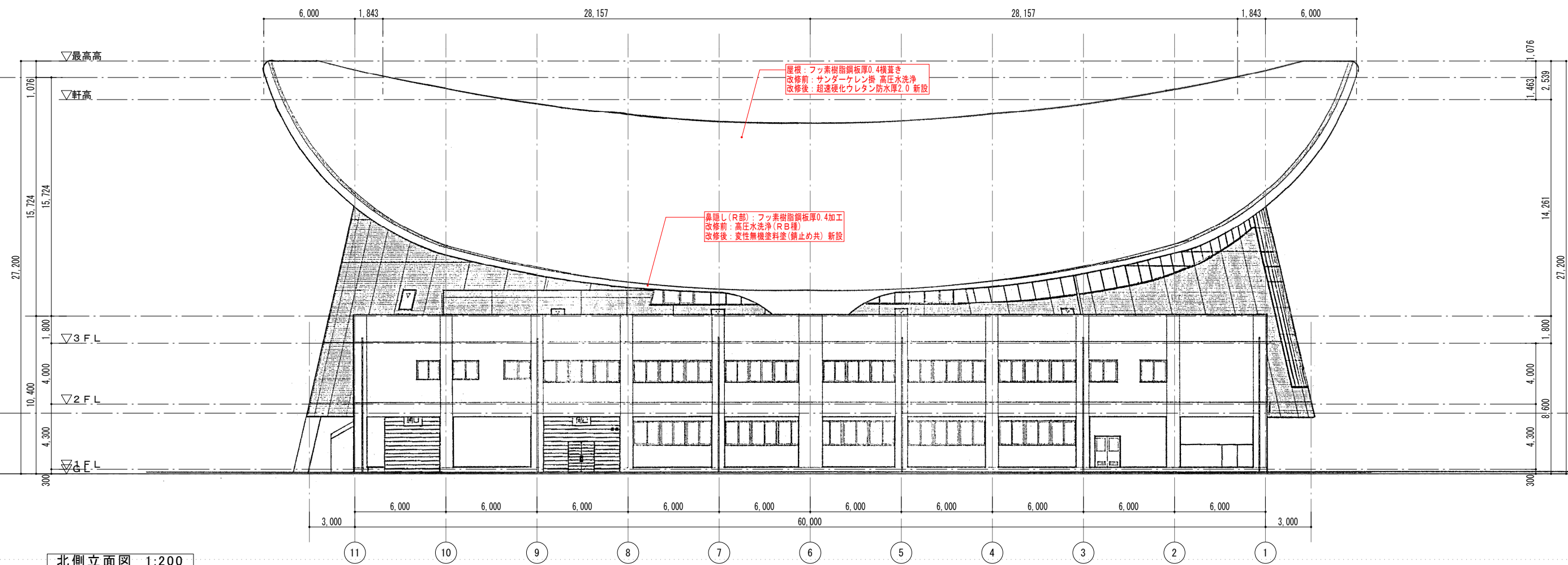




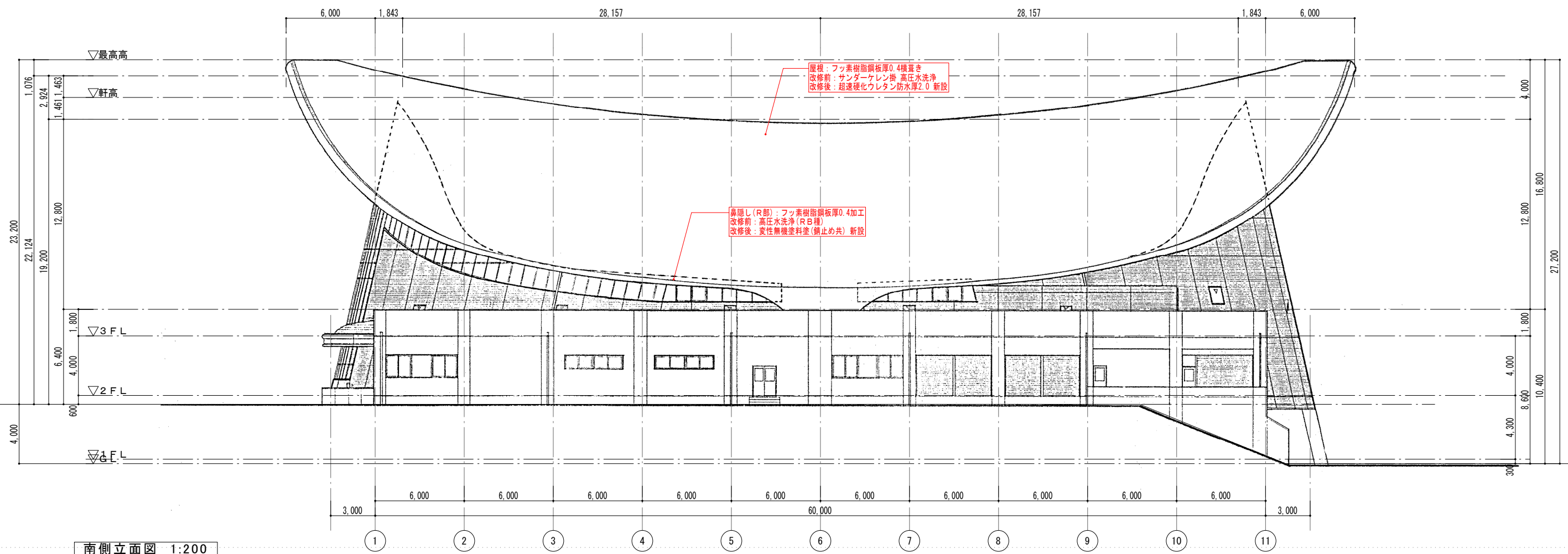
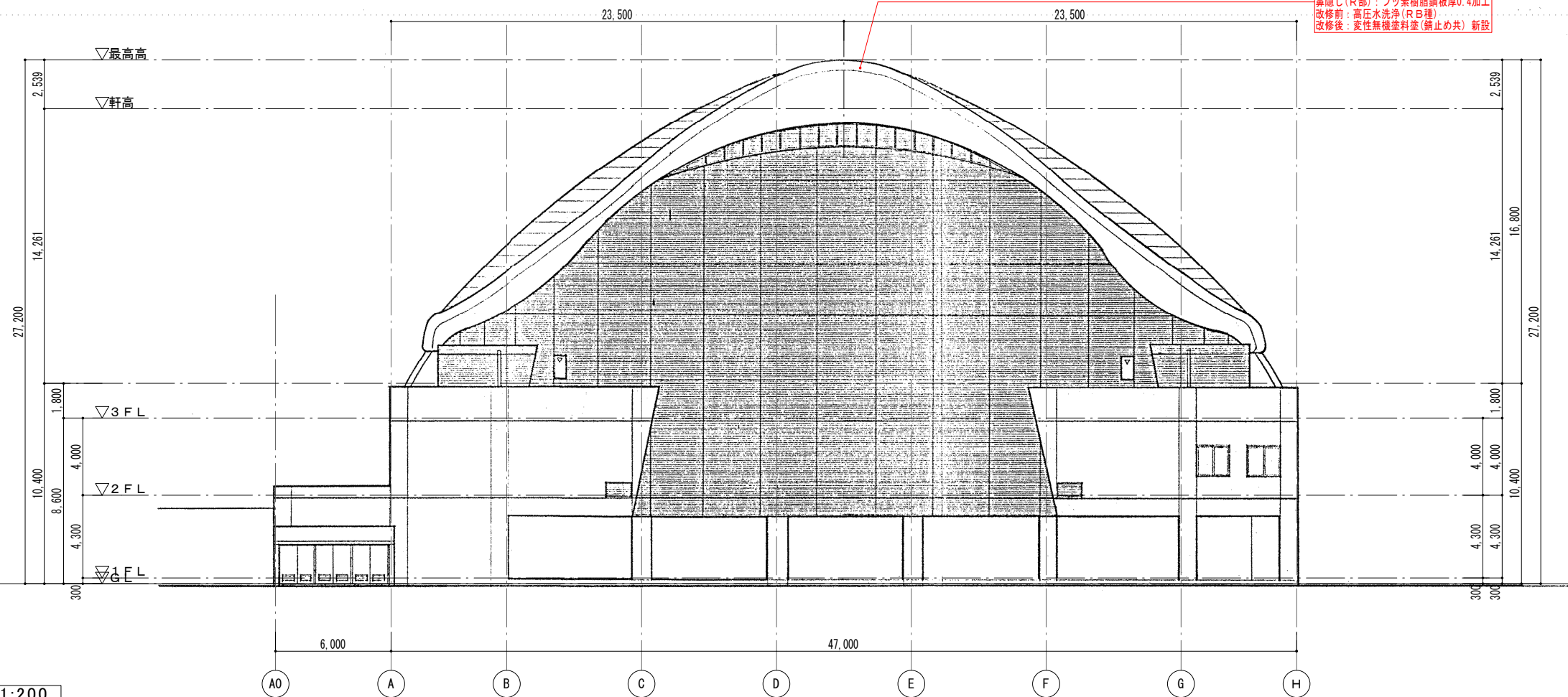


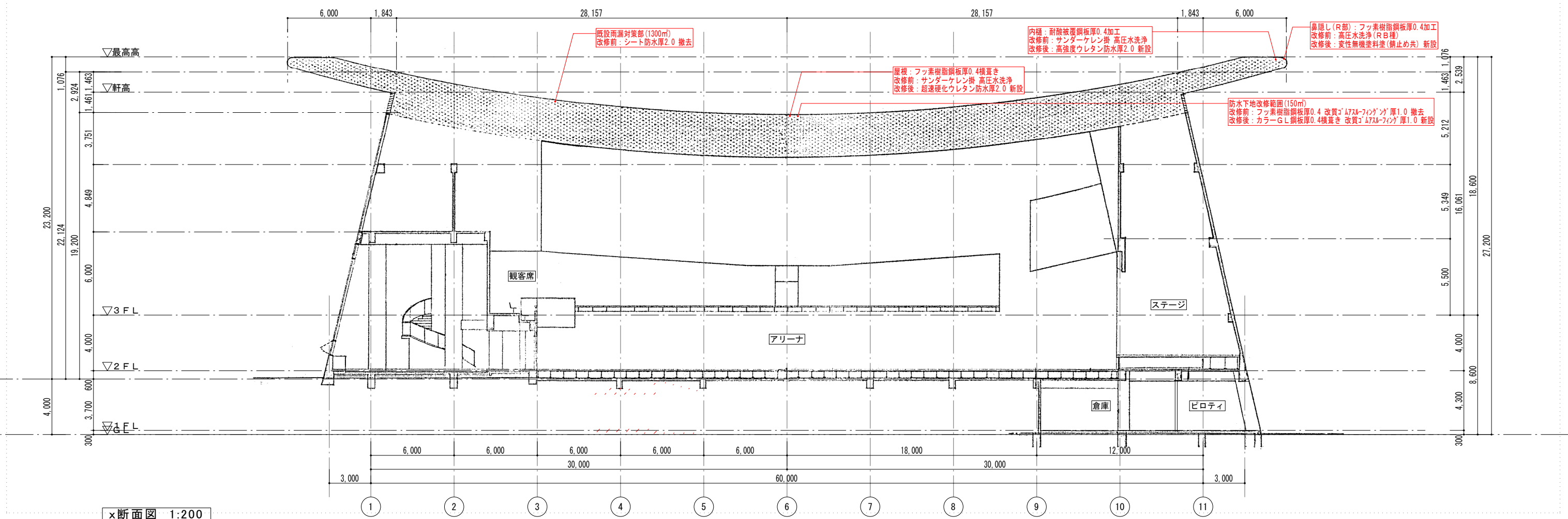
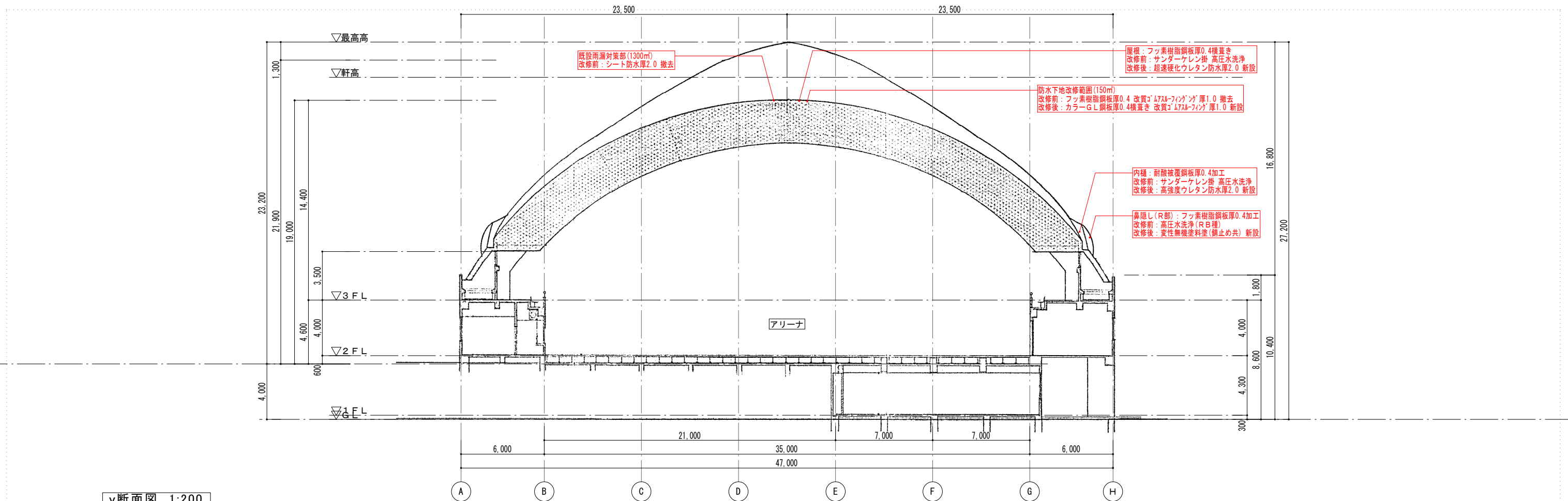


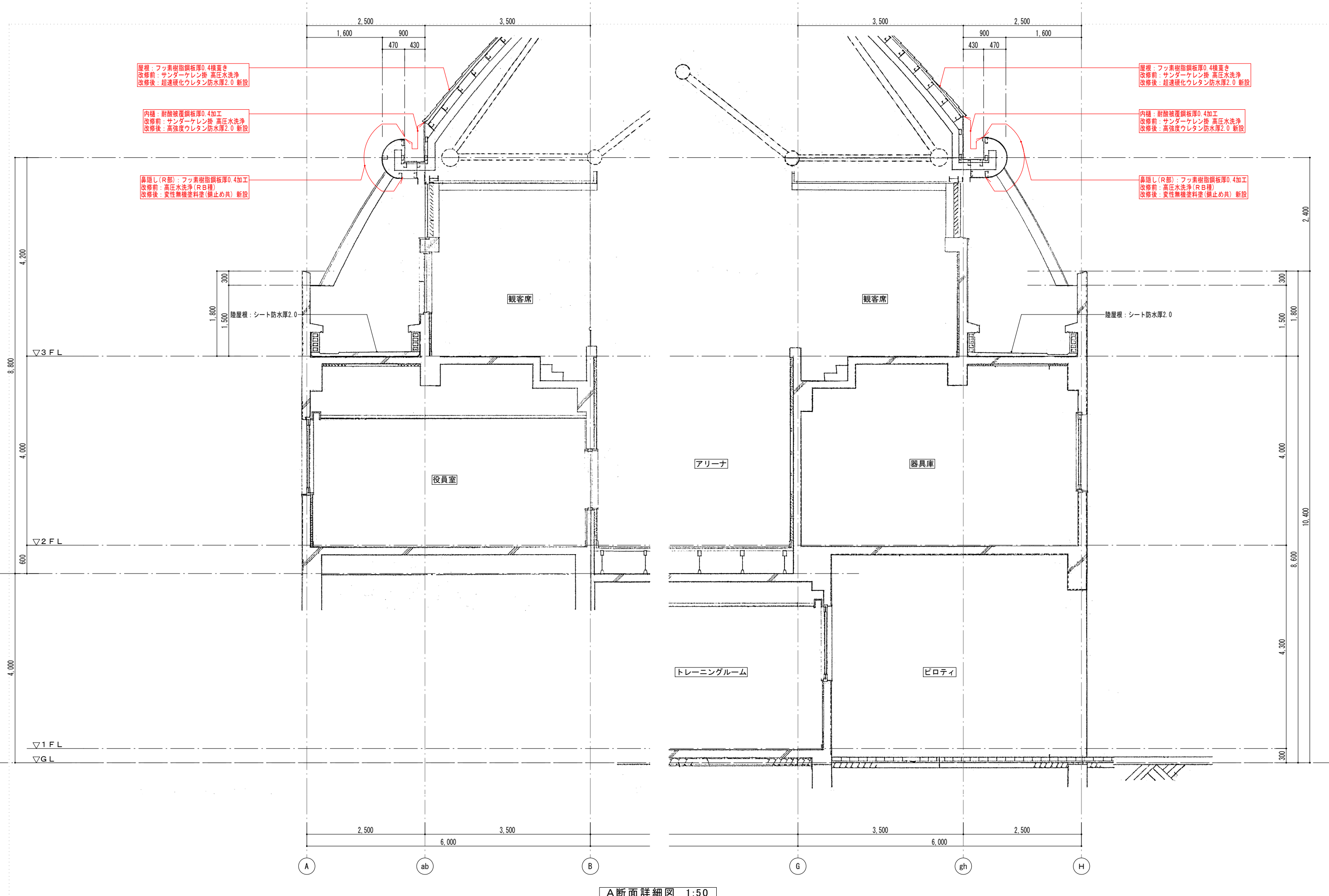
西側立面図 1:200

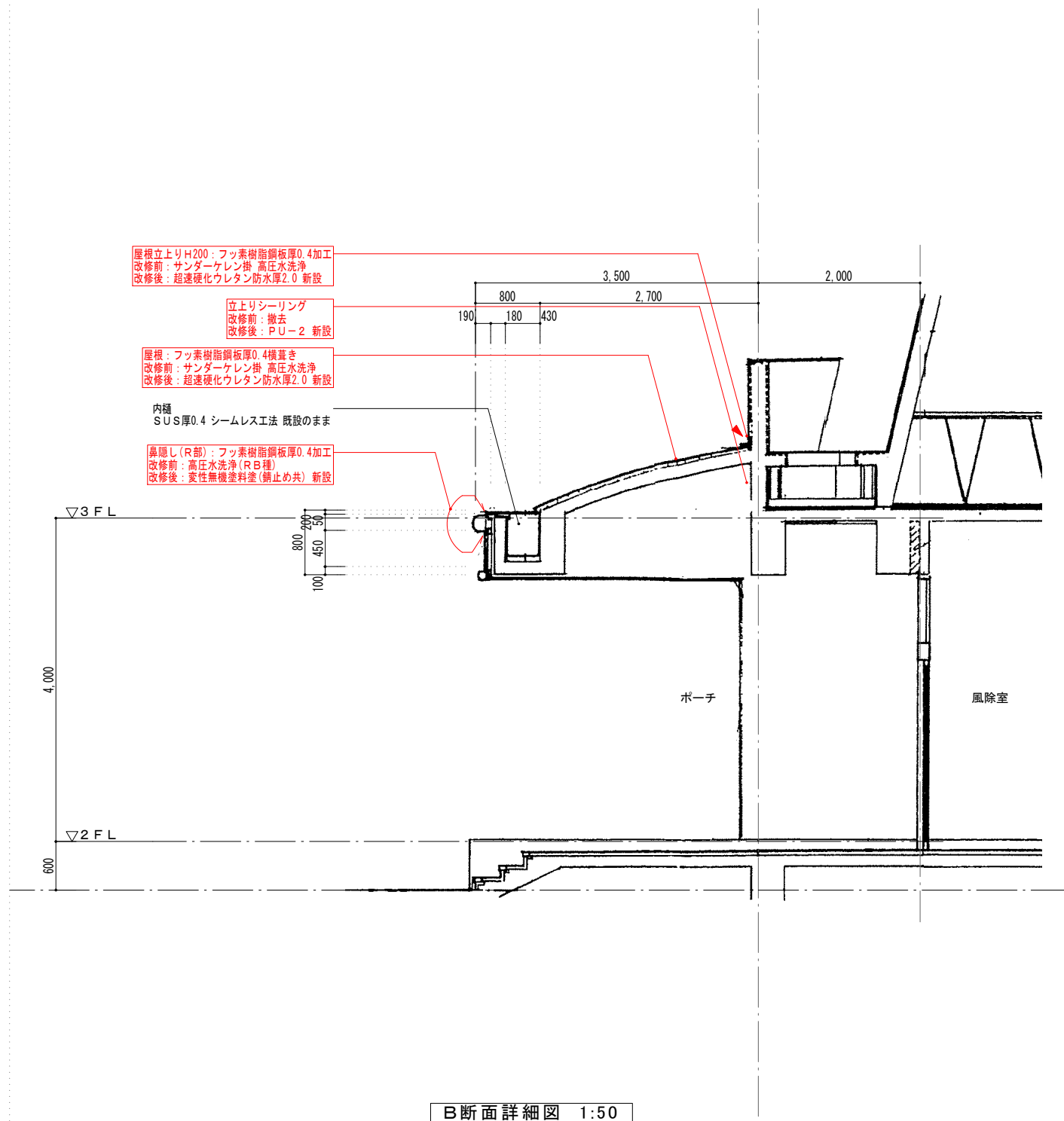


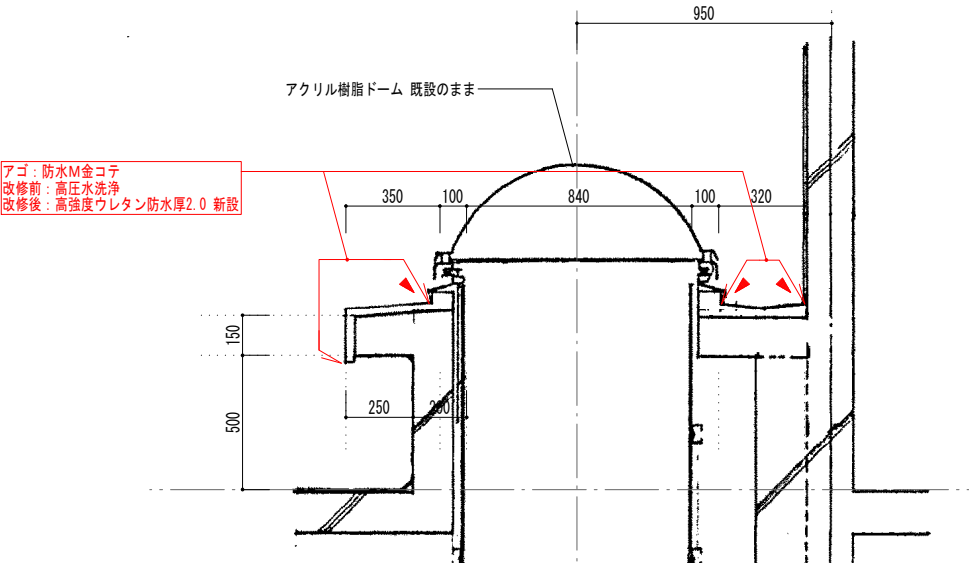
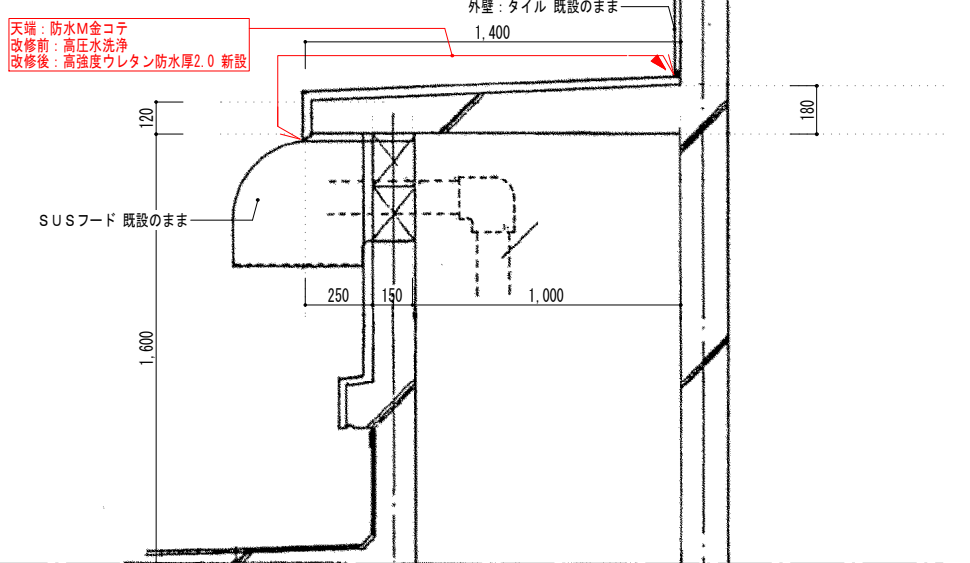
北側立面図 1:200

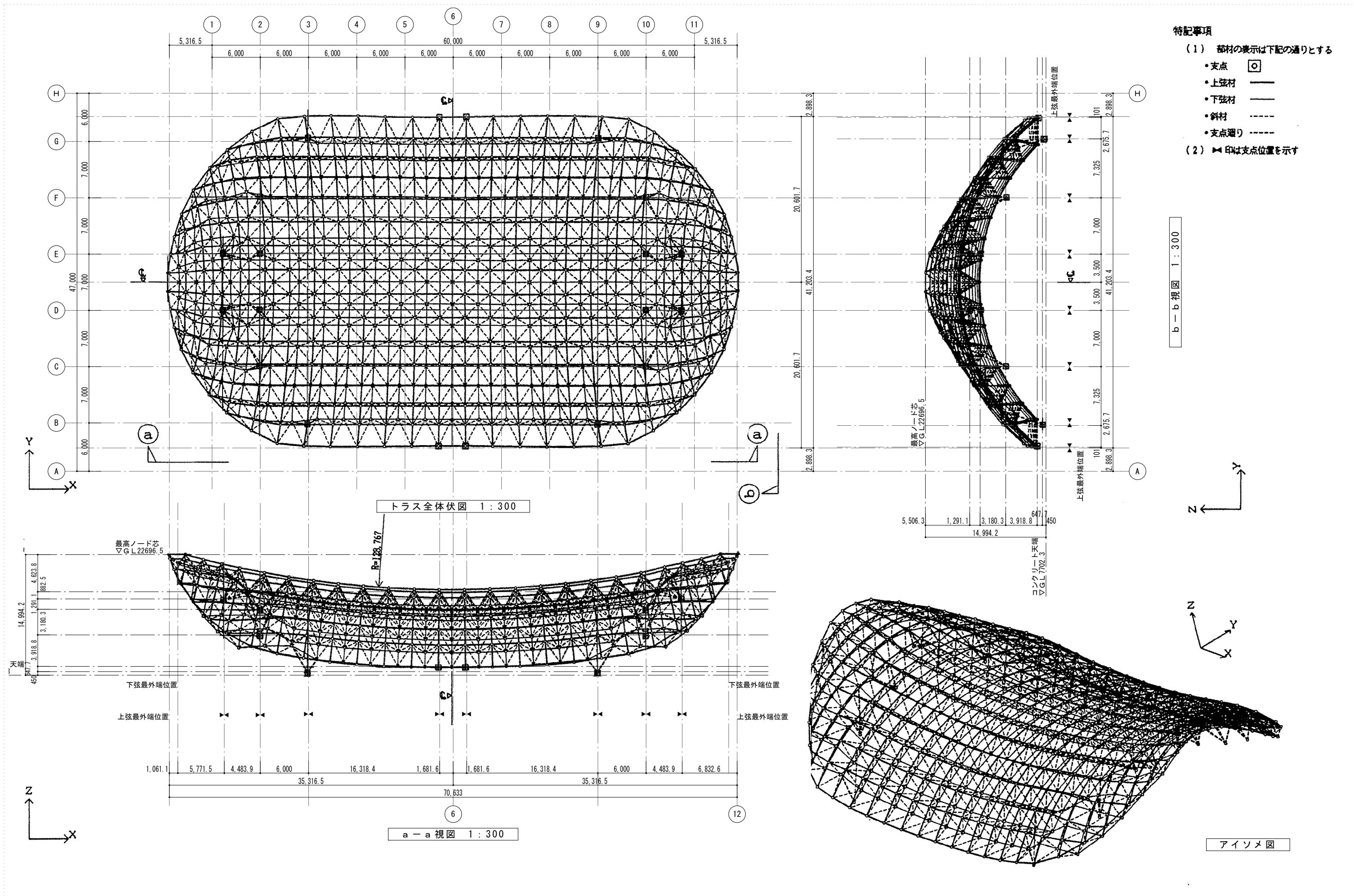


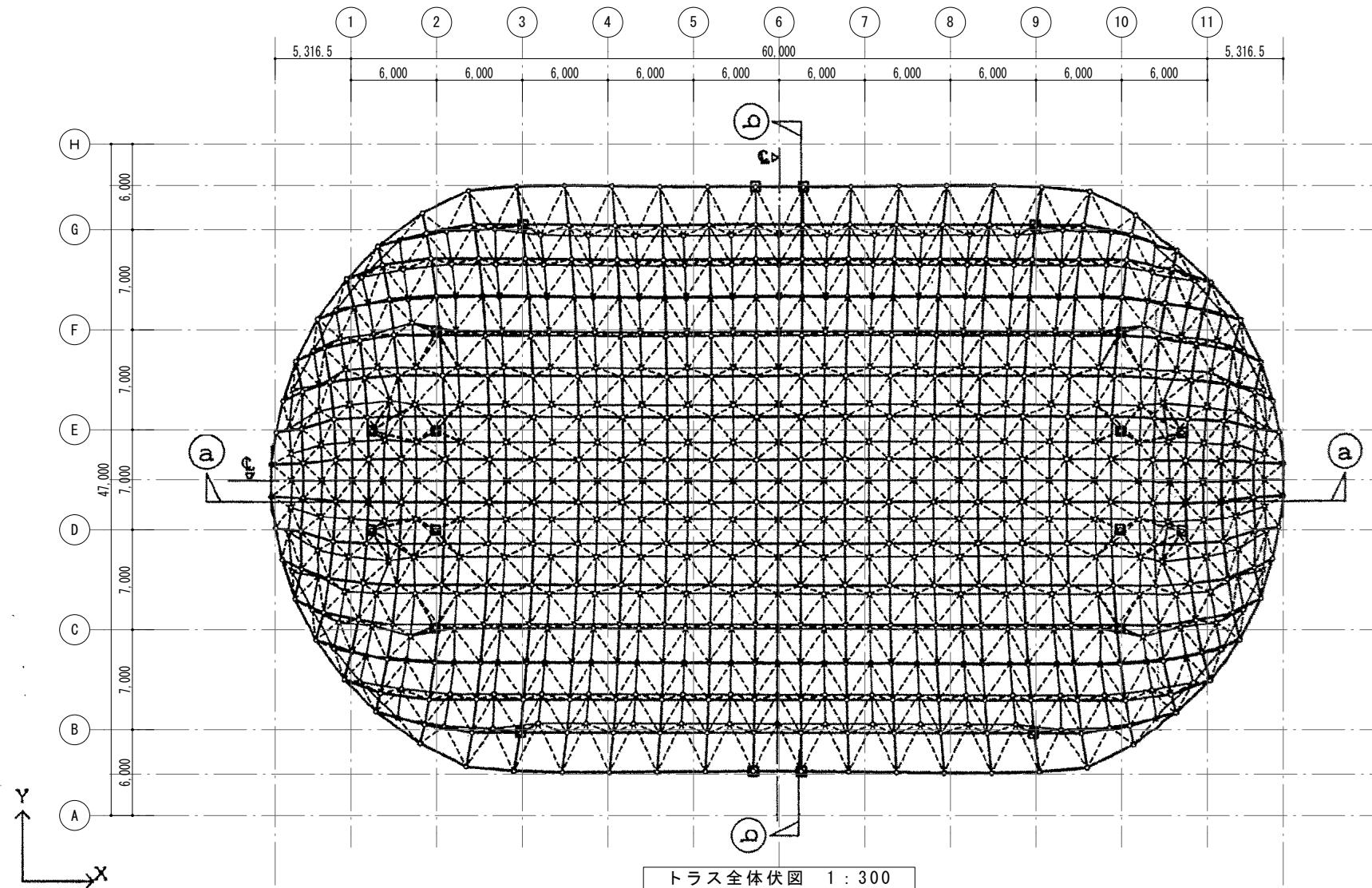




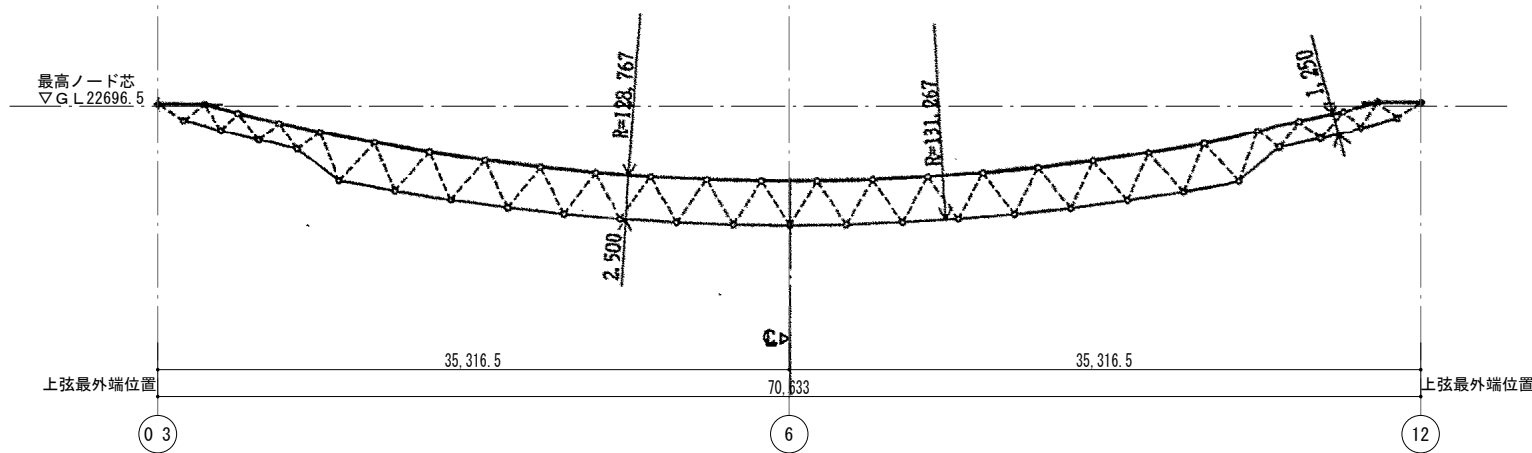


排煙ハッチ詳細図 1:20 	ハト小屋詳細図 1:20 	

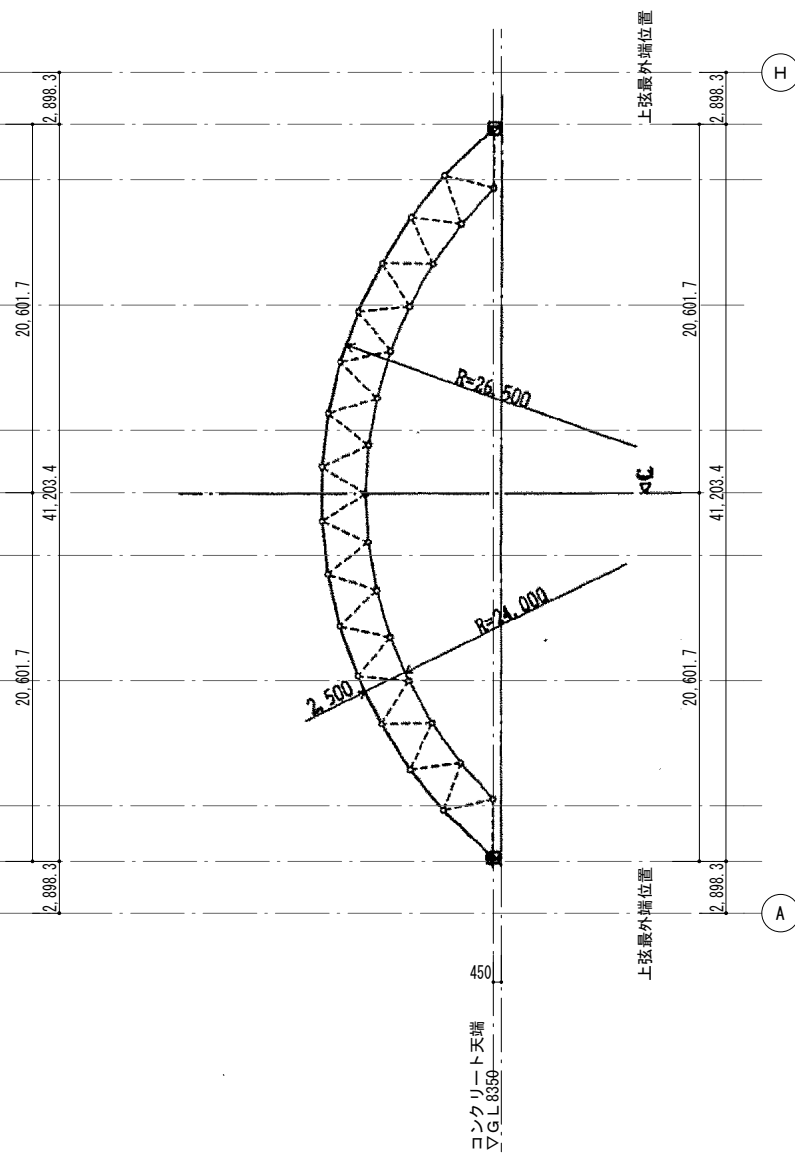




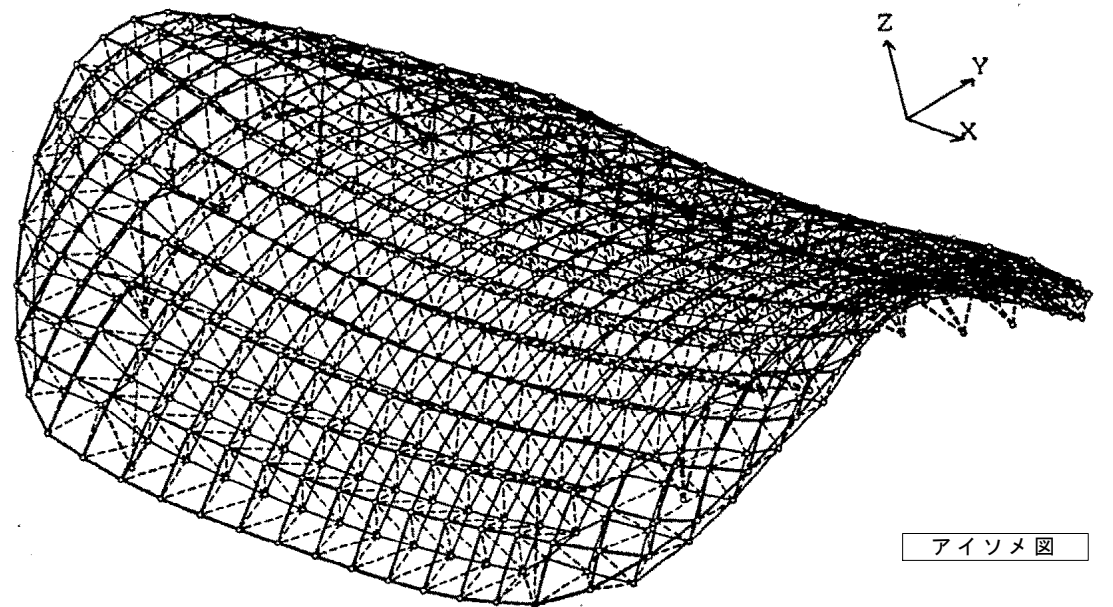
トラス全体伏図 1 : 300



a - a 断面図 1 : 300



b - b 断面図 1 : 300

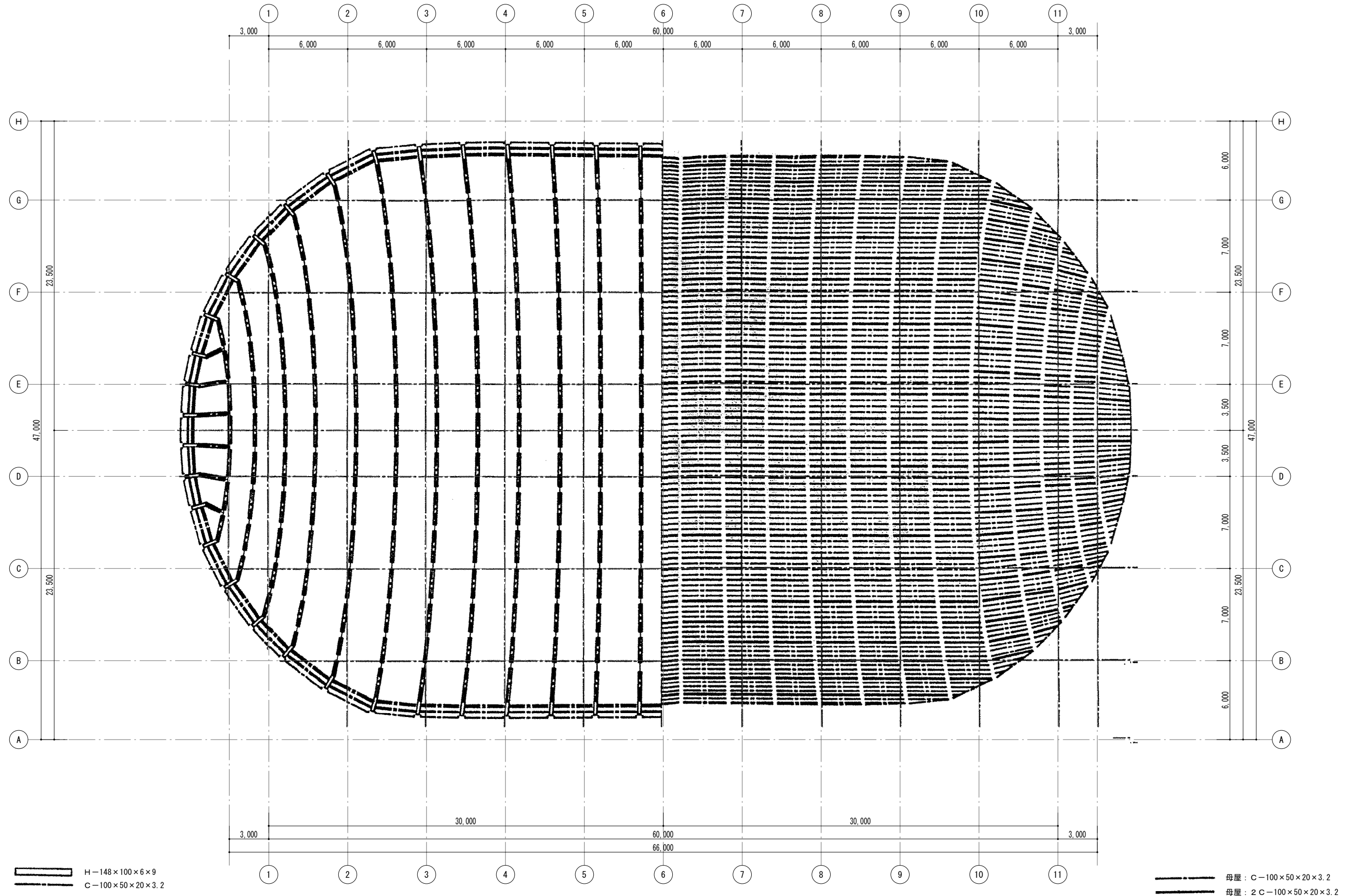


アイソメ図

特記事項

(1) 部材の表示は下記の通りとする

- 支点
- 上弦材
- 下弦材
- 斜材
- 支点廻り

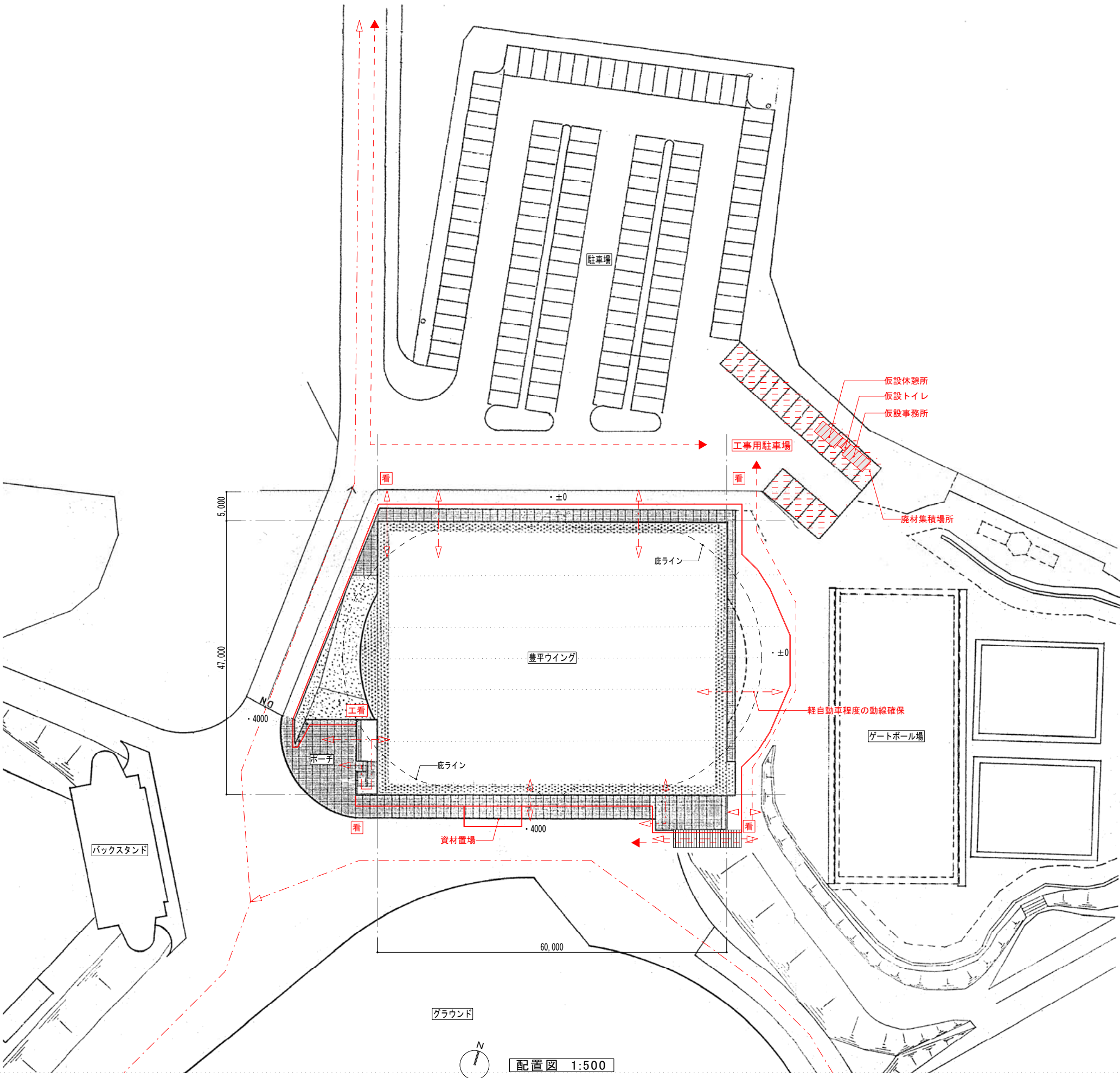


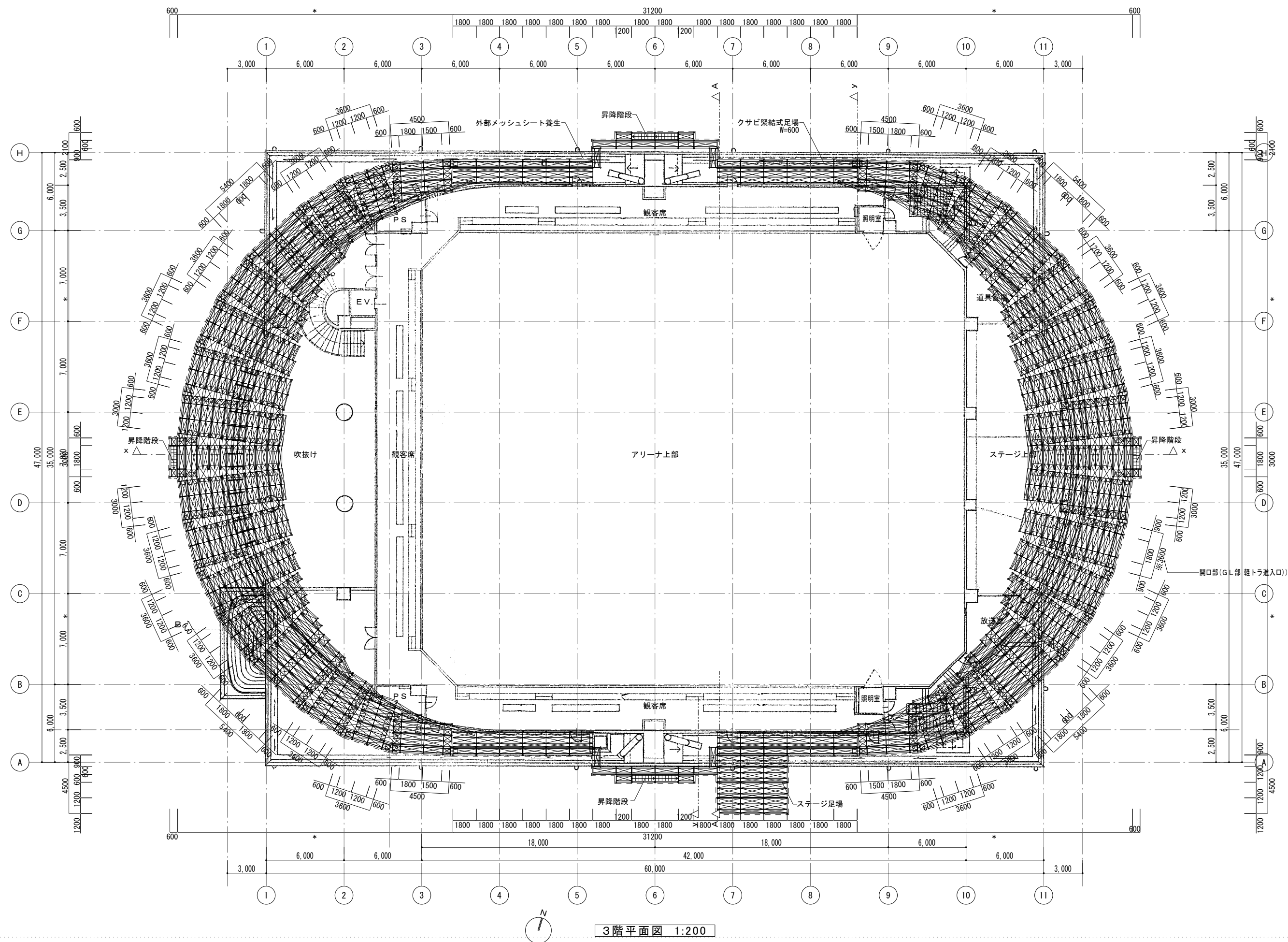
凡例

◀ - -	動線：工事関係進入経路
◁ - -	動線：施設利用者
—仮—	バリケードH1800程度
——	カラーコーン、コーンバー
⓪	誘導員(臨時)
看	工事中協力用看板
工看	工事用看板

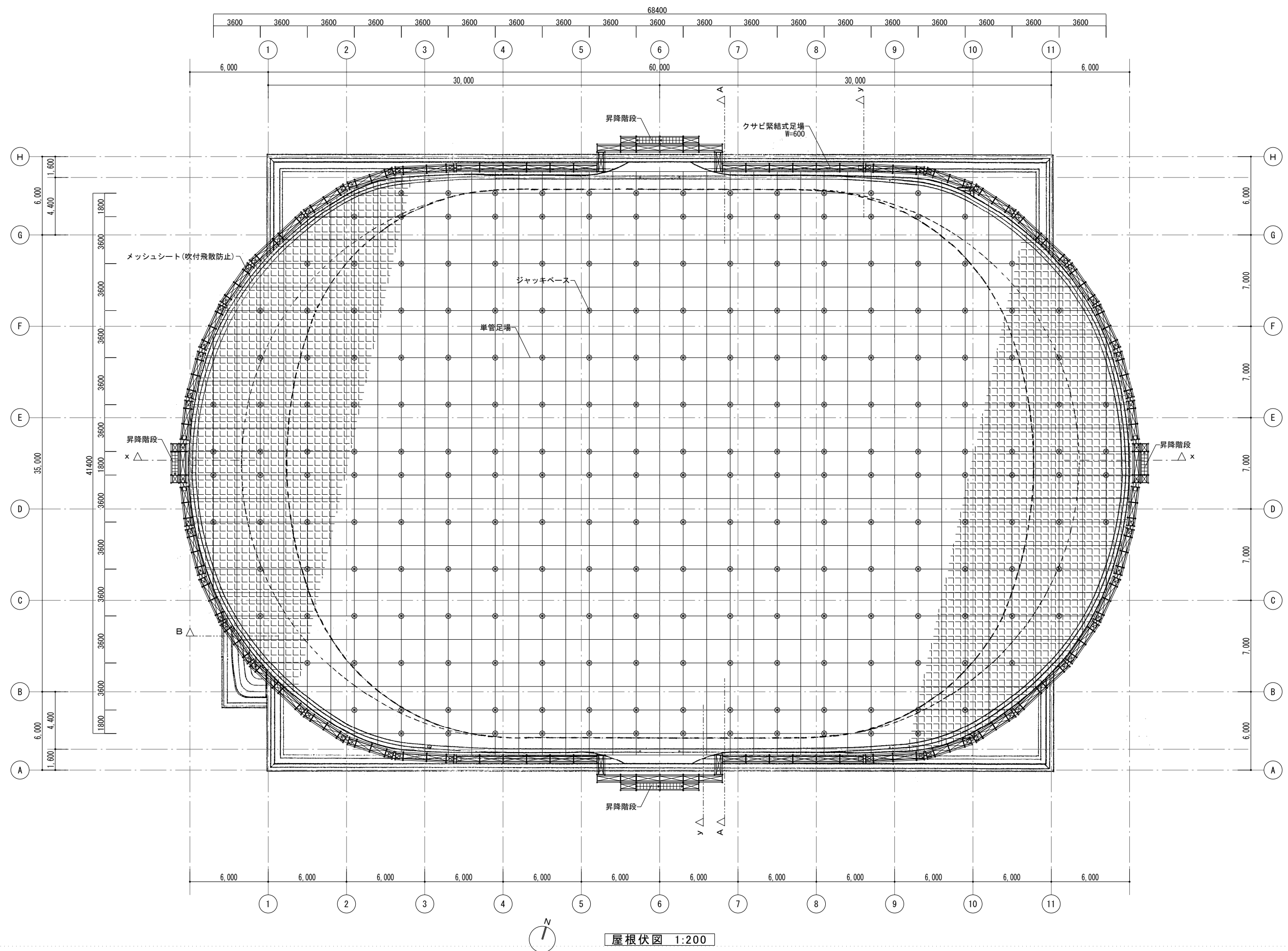
特記事項

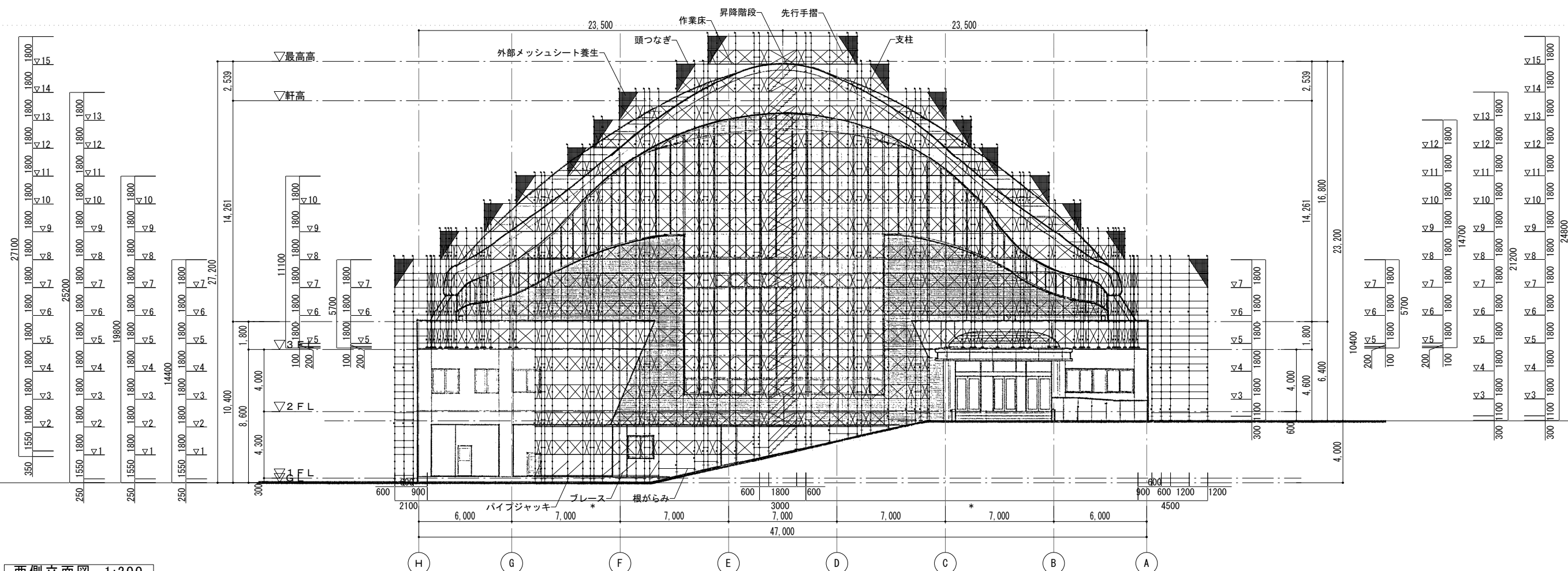
- ・仮設図に記載された仮設資材等、また、概略工事工程表(別紙)は、発注者の考え方を示したものである。実際の施工においては、事前に詳細な調査・協議・検討を行い、より安全で、工期短縮を図る施工に努めること。
- ・材料搬入時、大型車両の出入り時は、交通誘導員を配置すること。
- ・作業車両を駐車させる場合、カラーコーンなどで区画し、視認性を高めること。



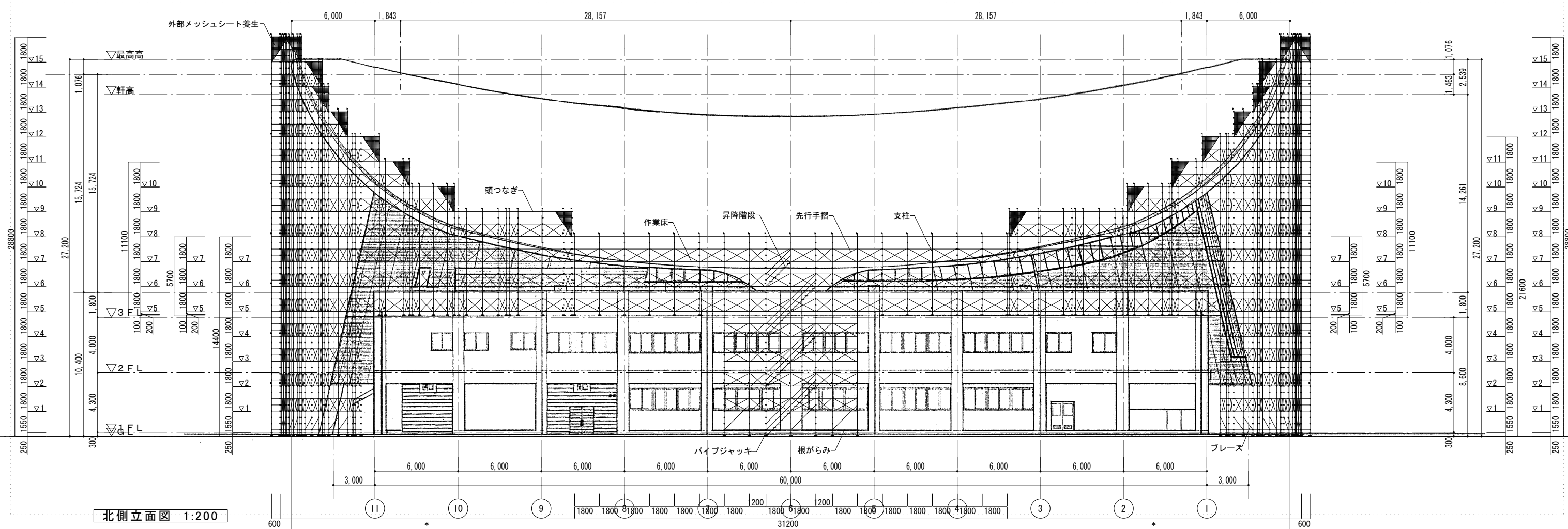


3階平面図 1:200

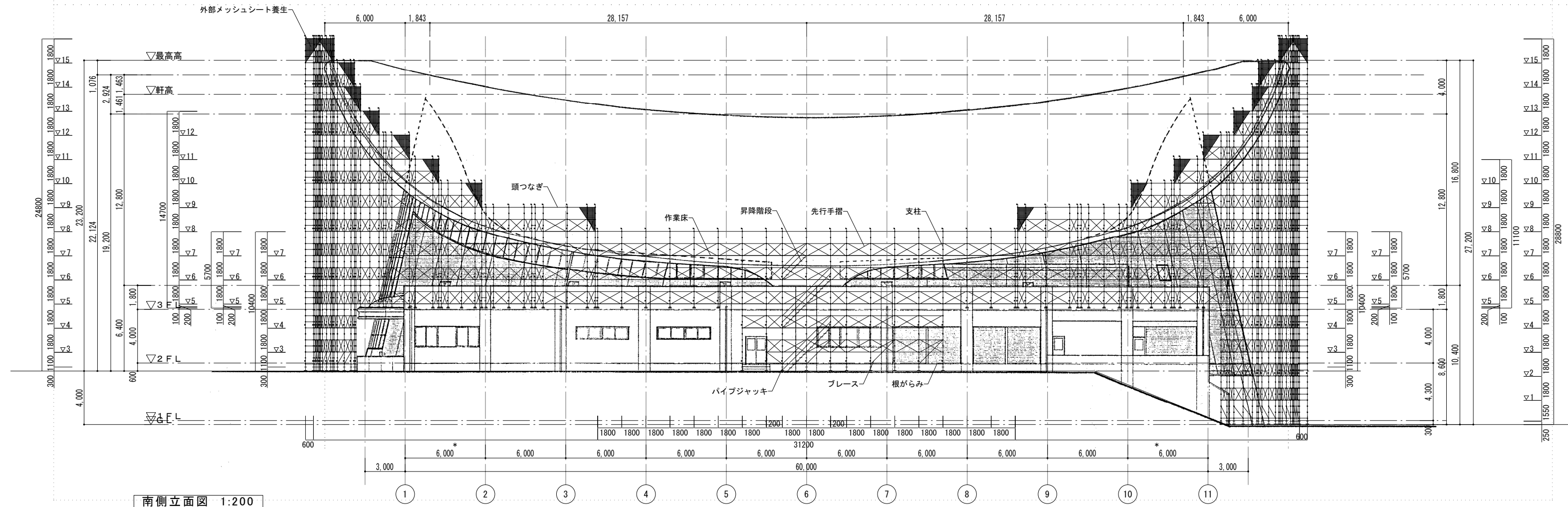
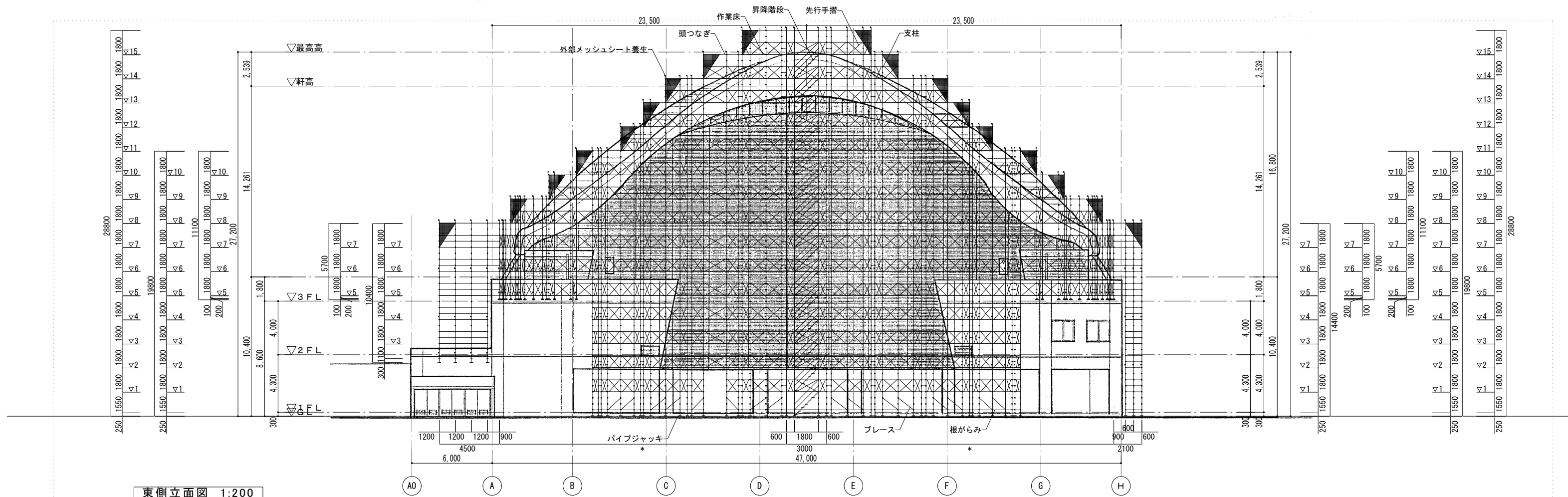


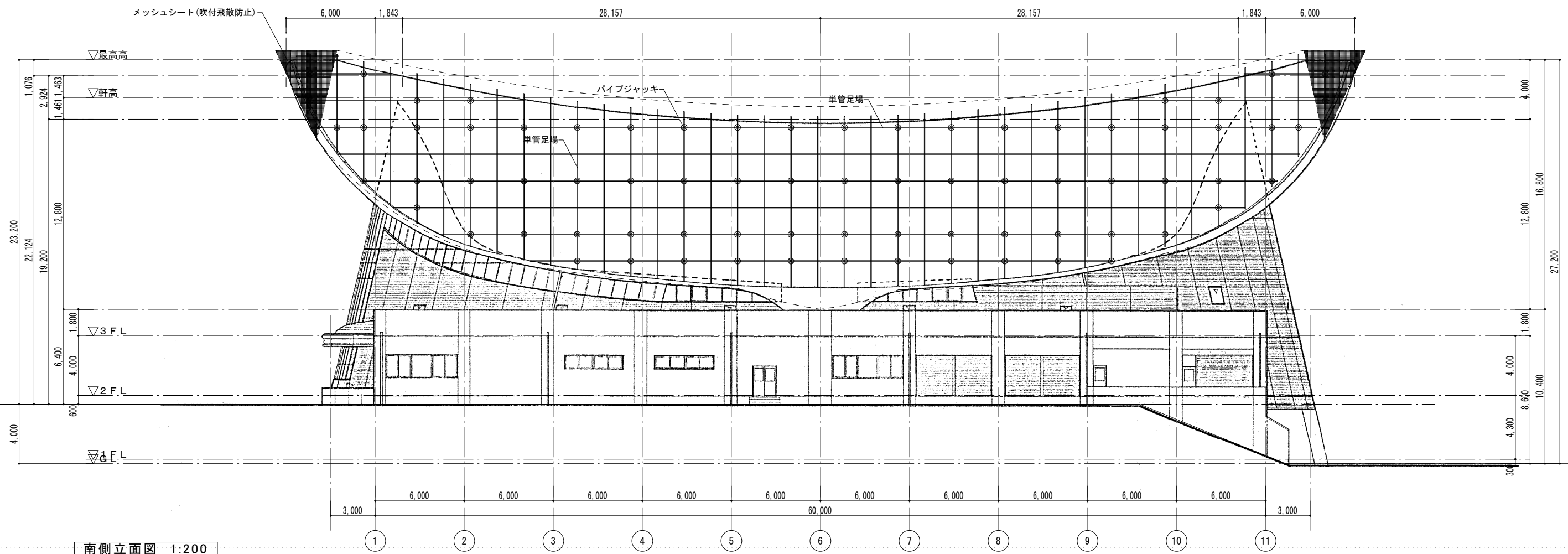
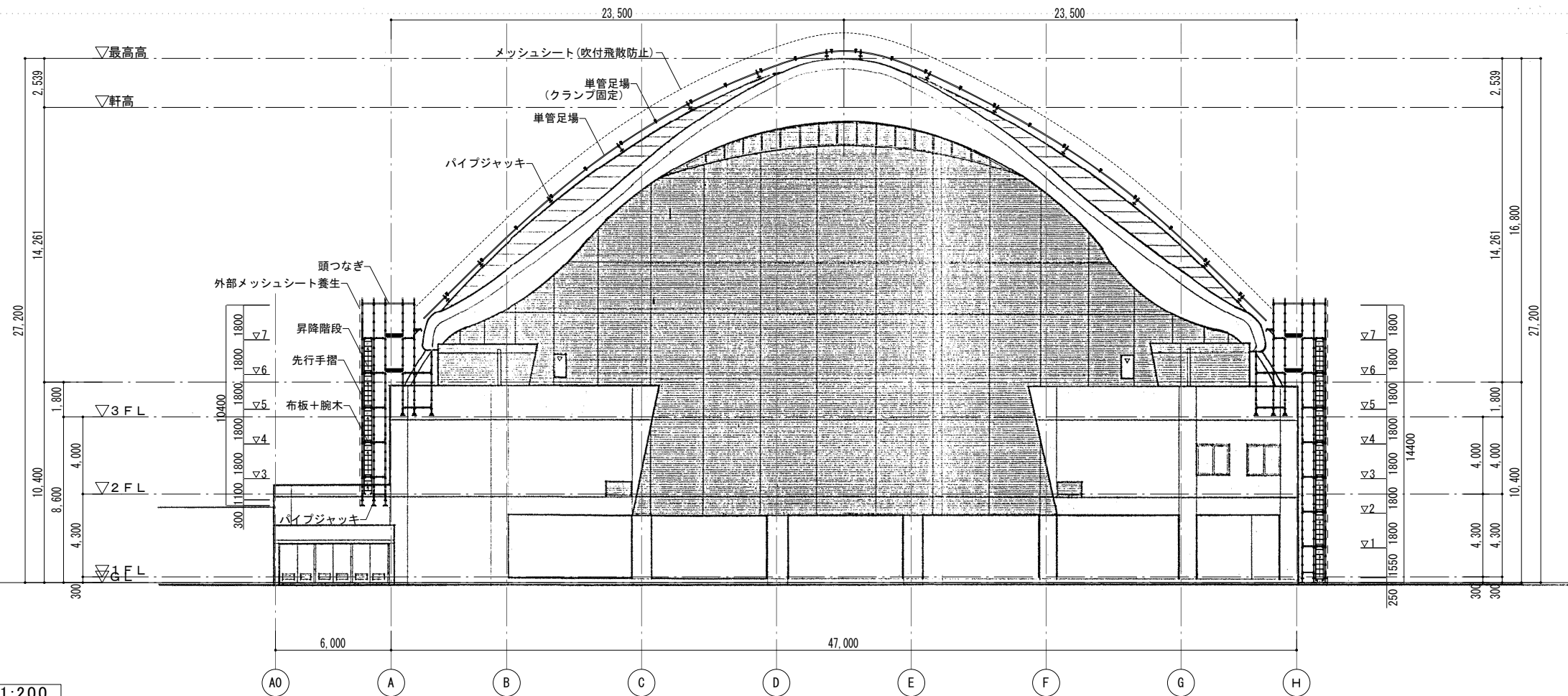


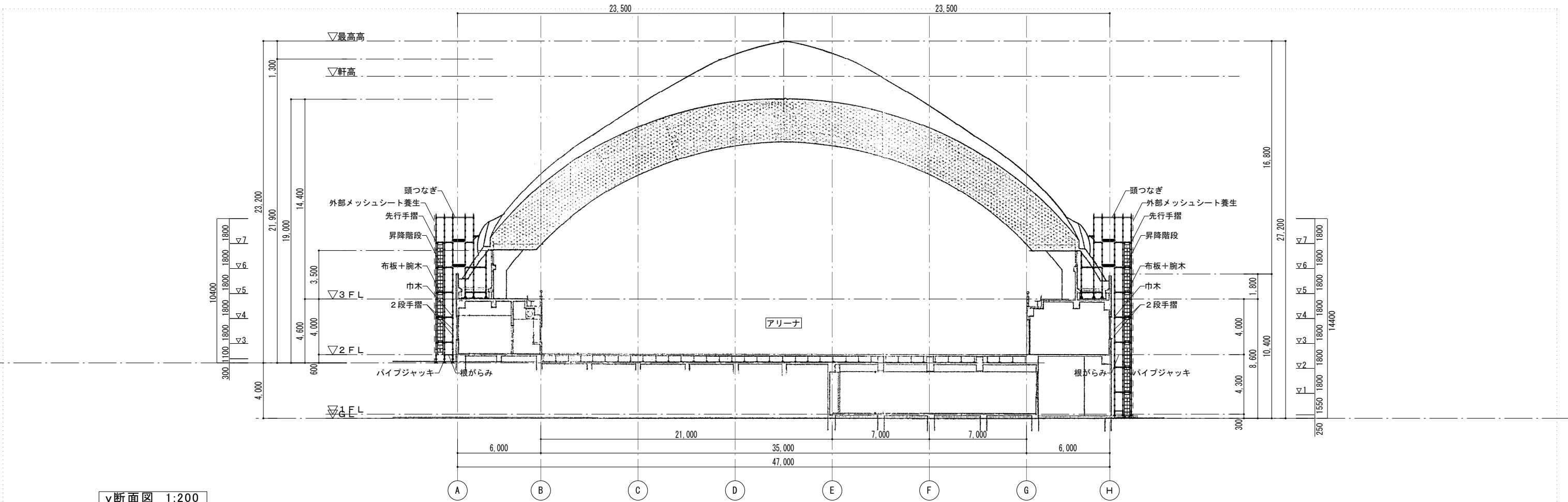
西側立面図 1:200



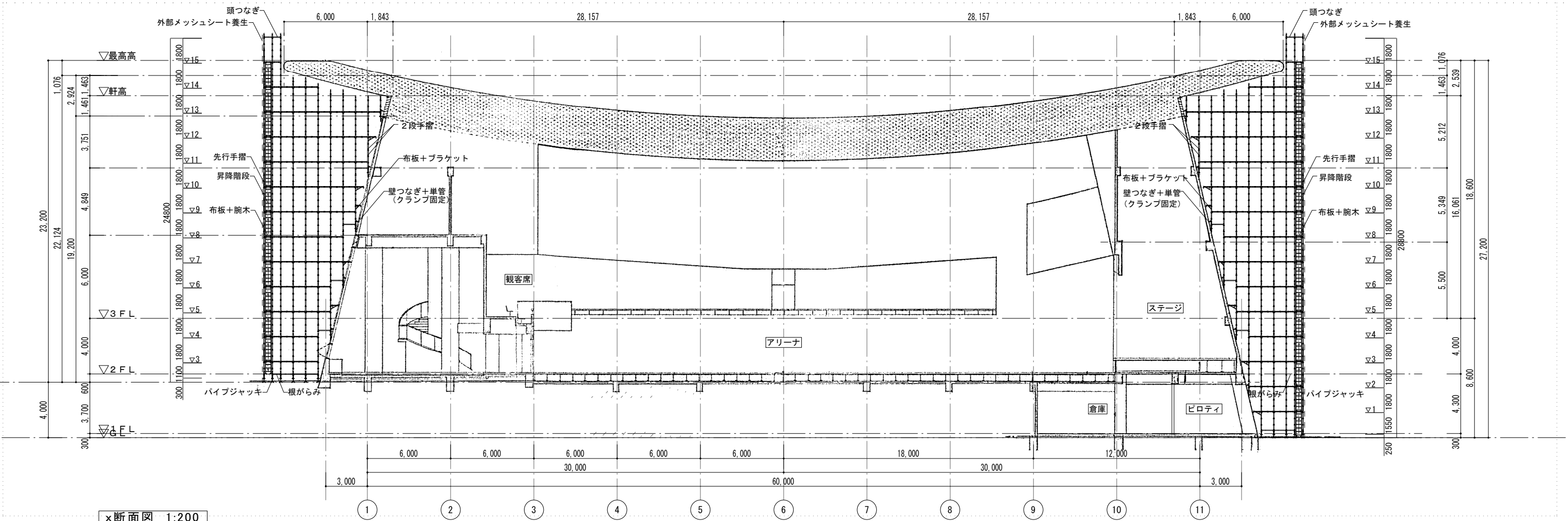
北側立面図 1:200



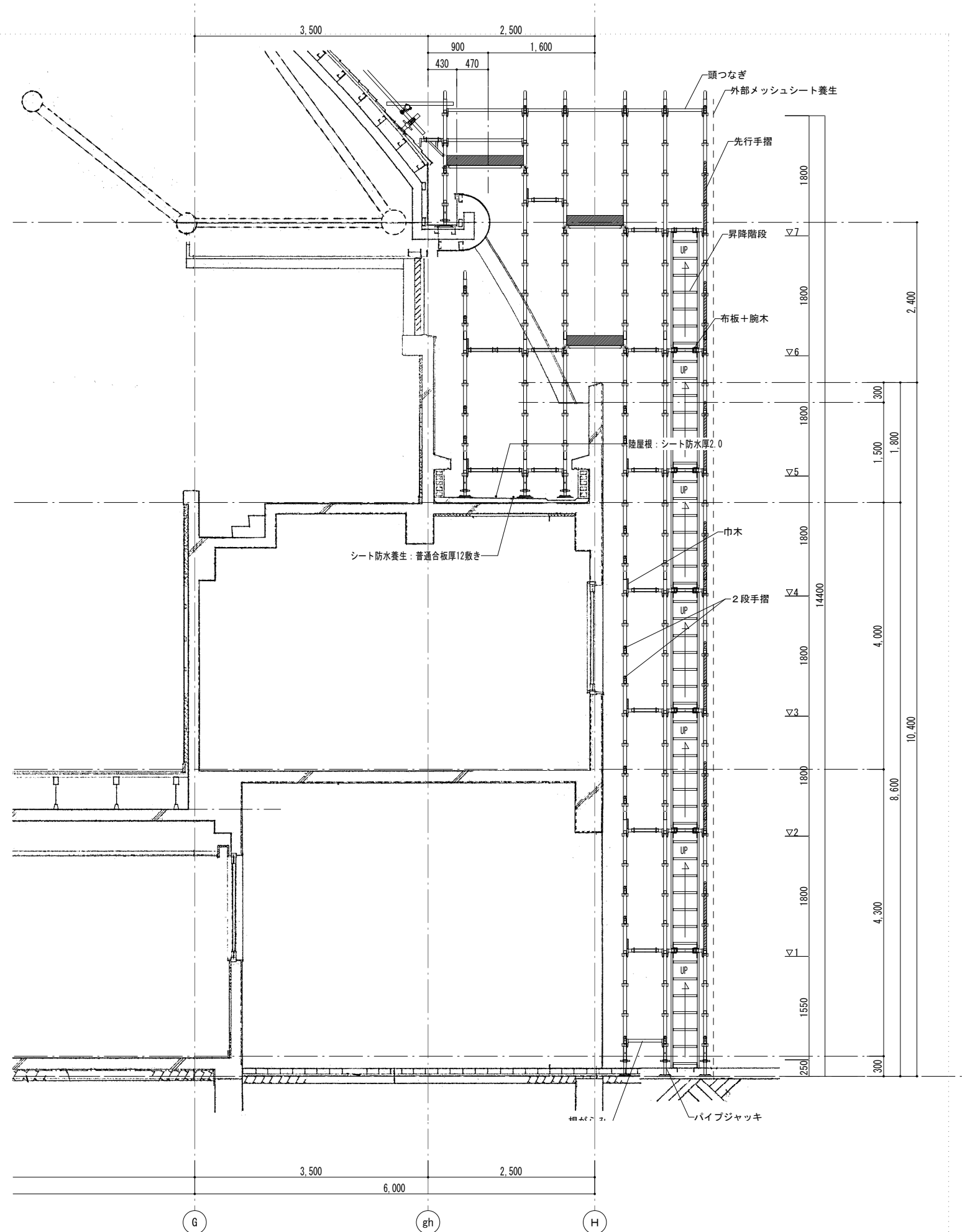
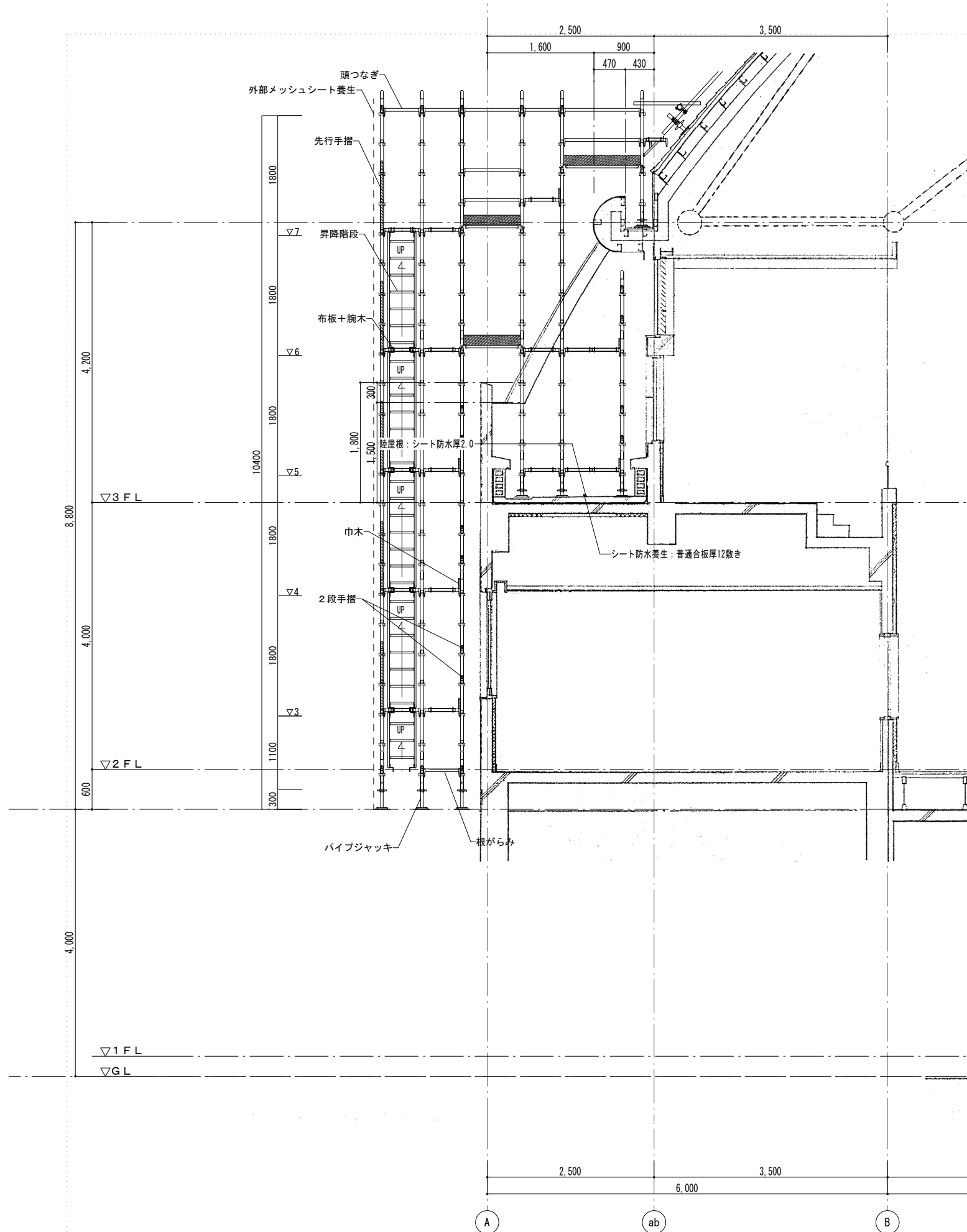




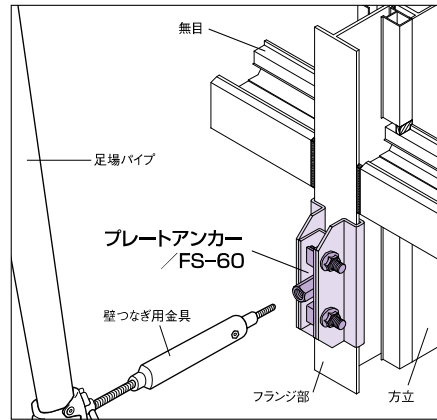
y断面図 1:200



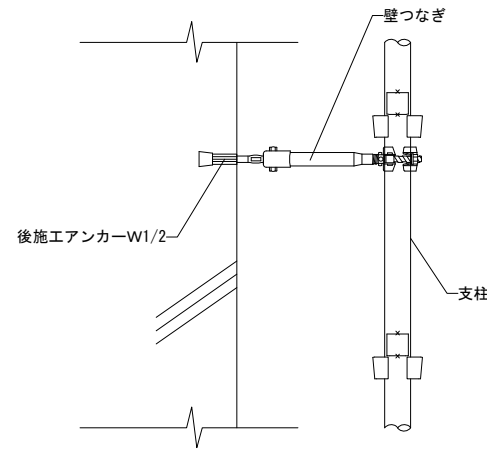
x断面図 1:200



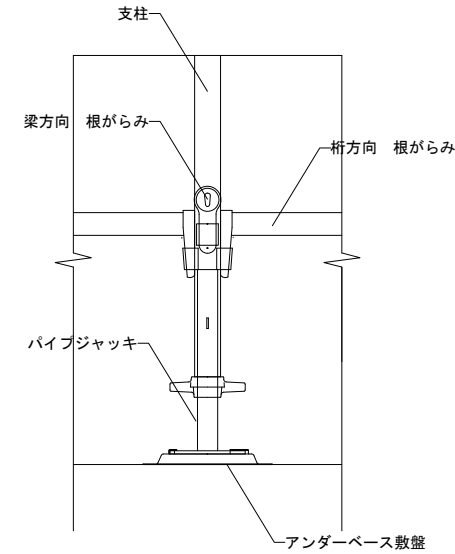
A断面詳細図 1:50



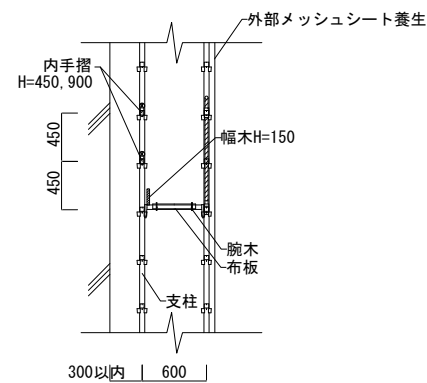
カーテンウォール壁つなぎ詳細図 1



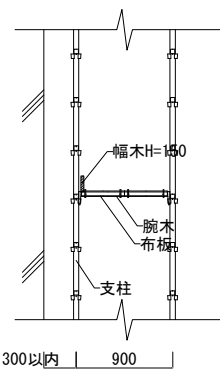
壁つなぎ詳細図 2 1:10



柱脚部詳細図 1:10

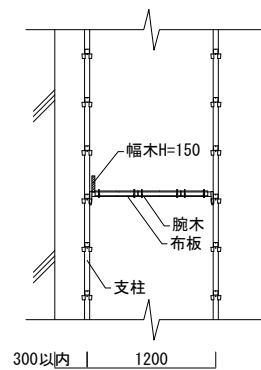


足場(600)詳細図 1:50



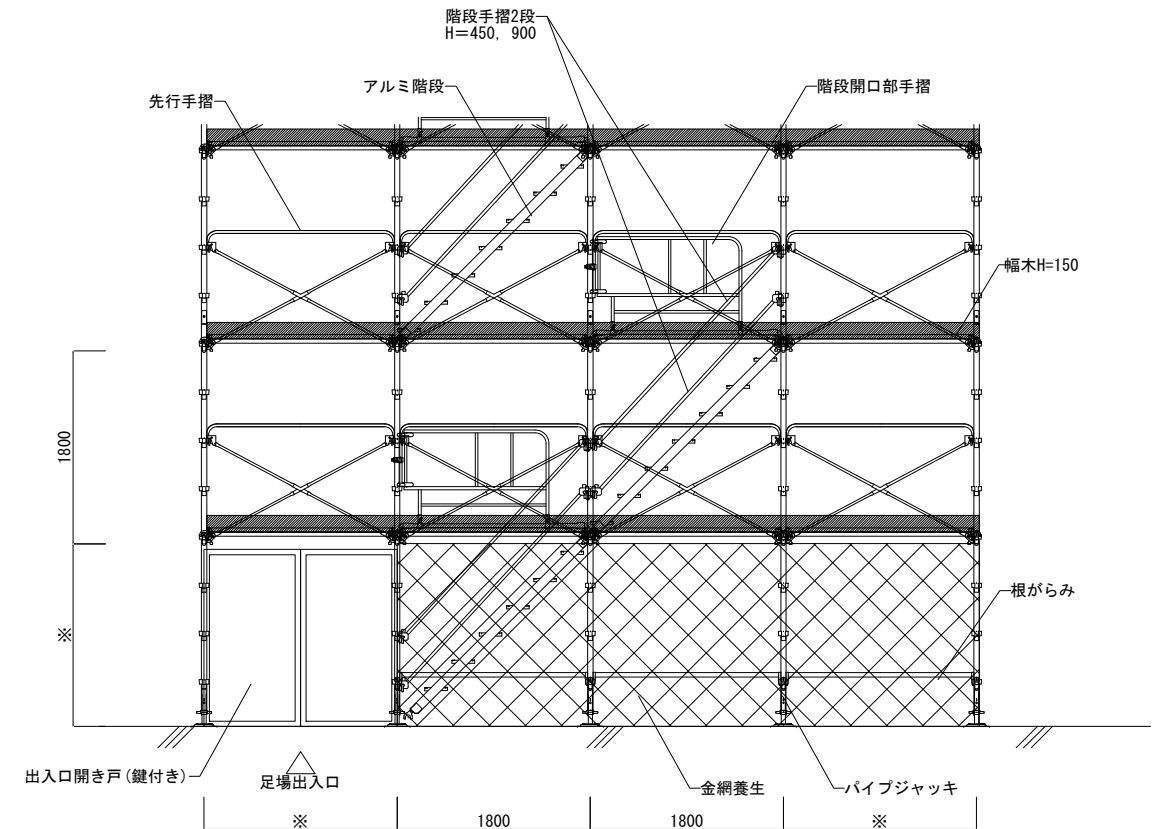
※外部足場内側部

足場(900) 詳細図 1:50



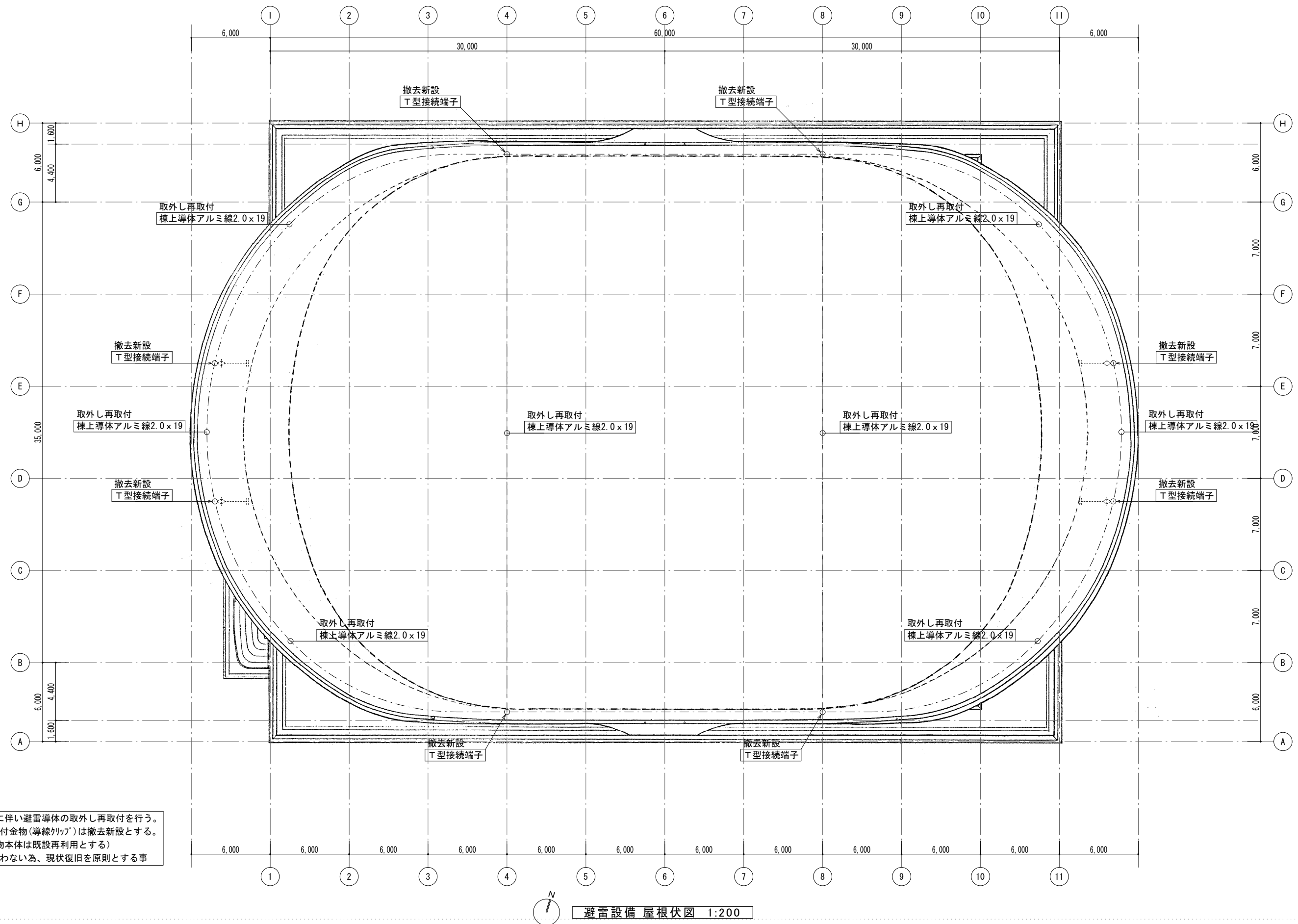
※外部足場内側部

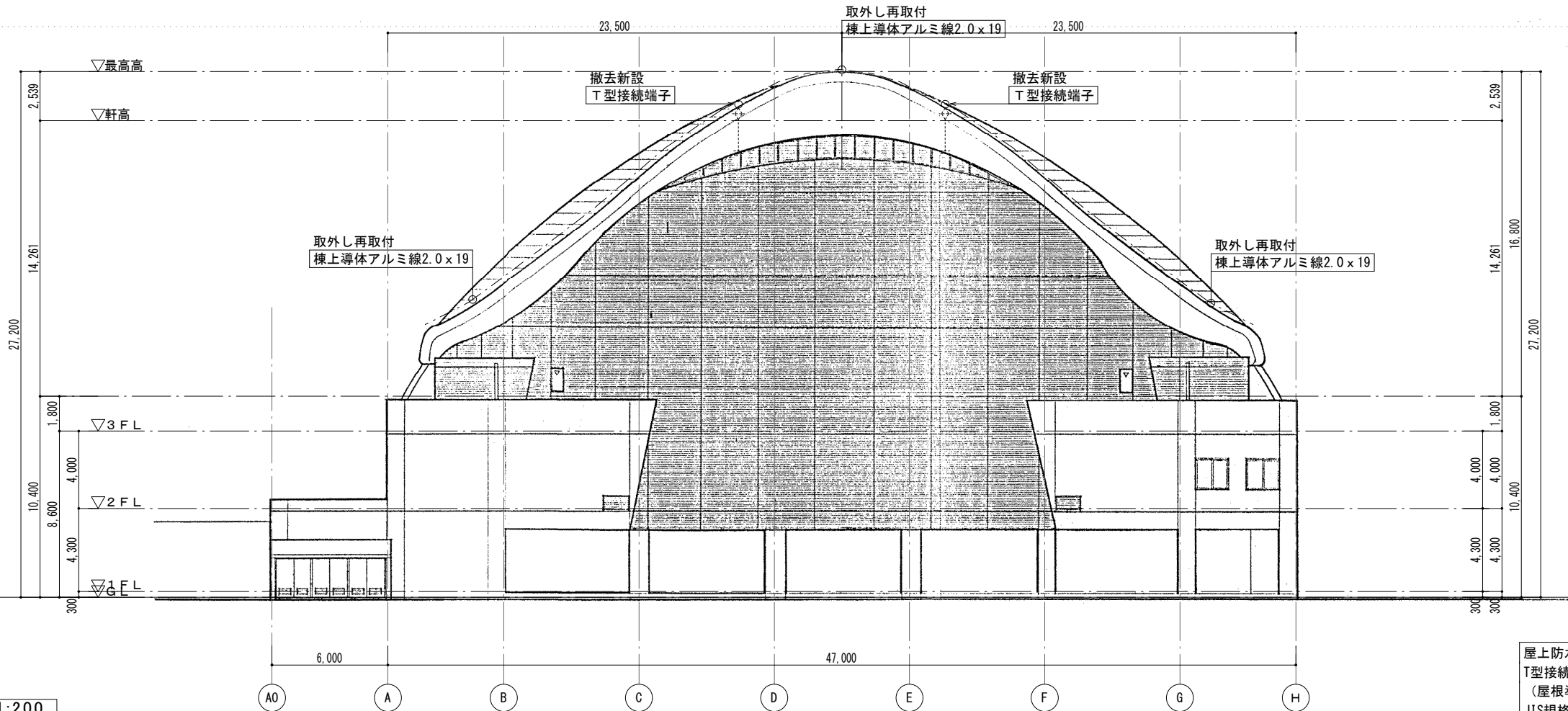
足場(1200)詳細図 1:50



昇降階段詳細図 1:50

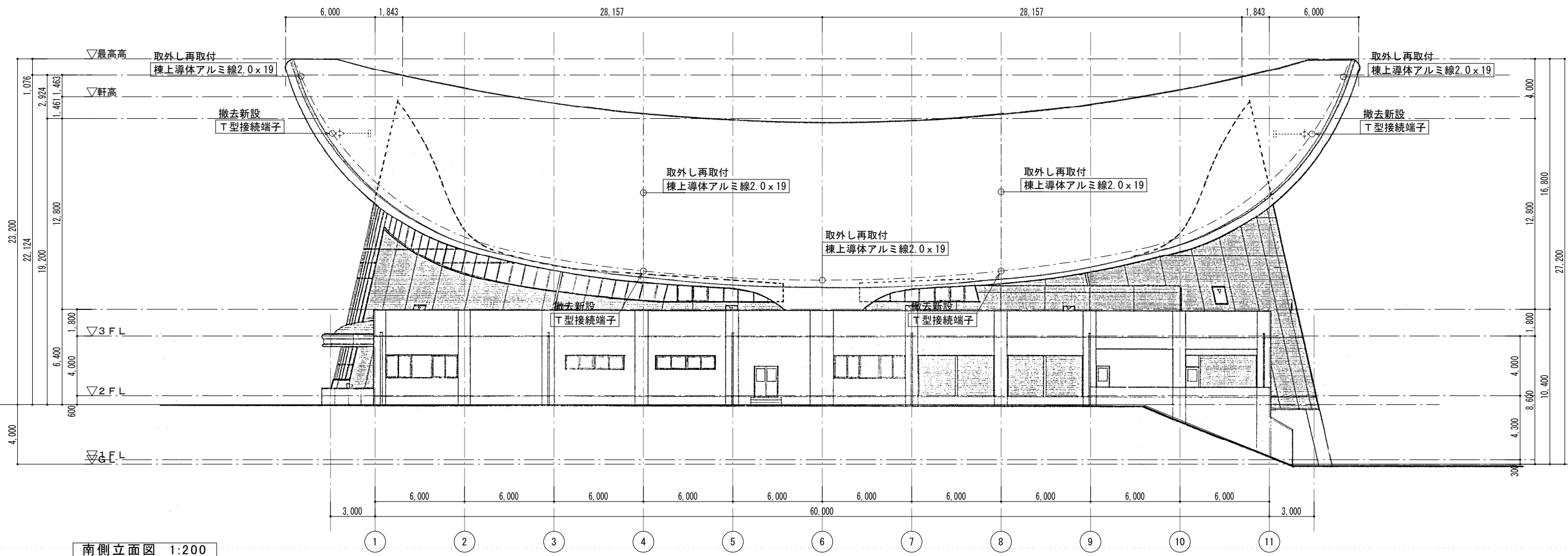
Ⅰ. 工 事 概 要		Ⅱ. 工 事 仕 様	
1. 工事名称：豊平ウイング屋根改修工事		1. 共通仕様	
2. 工事場所：広島県山県郡北広島町都志見12609		(1)特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」（ただし改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」）（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」（以下「標準図」という。）による。	
3. 建物概要		(2)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。	
建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積（㎡）
豊平ウイング	RC造一部S造	3階	4068.42
消防法施行令別表第一の区分			
備考			
4. 工事種目（○印の付いたものが対象工事種目）		5. 指定部分 ※ 無し ・ あり（工期 令和 年 月 日）	
建物別及び屋外工事種目	工 事 種 別	対象部分： (改修工事の場合の部分使用 ※ 無し ・ あり)	
・ 電灯設備			
・ 動力設備			
・ 電熱設備			
○ 雷保護設備	取外し・再取付		
・ 受変電設備			
・ 電力貯蔵設備			
・ 発電設備			
・ 構内情報通信網設備			
・ 構内交換設備			
・ 情報表示設備			
・ 映像・音響設備			
・ 拡声設備			
・ 誘導支援設備			
・ テレビ共同受信設備			
・ 監視カメラ設備			
・ 駐車場管制設備			
・ 防犯・入退室管理設備			
・ 火災報知設備			
・ 中央監視制御設備			
・ 医療関係設備			
・ 構内配電線路			
・ 構内通信線路			
Ⅱ. 工 事 仕 様		Ⅲ. 工 事 仕 様	
1. 共通仕様		1. 共通仕様	
(1)特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」（ただし改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」）（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」（以下「標準図」という。）による。		(1)特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」（ただし改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」）（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」（以下「標準図」という。）による。	
(2)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。		(2)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。	
ア 公共事業労務費調査…工事に実施（調査票の記入提出、発注者実施への協力等）		ア 公共事業労務費調査…工事に実施（調査票の記入提出、発注者実施への協力等）	
イ 契約不適合調査…建設工事請負契約約款第4条6の5に定める期間内		イ 契約不適合調査…建設工事請負契約約款第4条6の5に定める期間内	
2. 特記仕様		2. 特記仕様	
(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。		(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。	
(2)特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。		(2)特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。	
(3)標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・施工検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等（条例含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）を優先する。		(3)標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・施工検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等（条例含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）を優先する。	
Ⅲ. 工 事 仕 様		Ⅳ. 工 事 仕 様	
1. 共通仕様		1. 共通仕様	
(1)特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」（ただし改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」）（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」（以下「標準図」という。）による。		(1)特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」（ただし改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」）（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」（以下「標準図」という。）による。	
(2)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。		(2)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。	
ア 公共事業労務費調査…工事に実施（調査票の記入提出、発注者実施への協力等）		ア 公共事業労務費調査…工事に実施（調査票の記入提出、発注者実施への協力等）	
イ 契約不適合調査…建設工事請負契約約款第4条6の5に定める期間内		イ 契約不適合調査…建設工事請負契約約款第4条6の5に定める期間内	
2. 特記仕様		2. 特記仕様	
(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。		(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。	
(2)特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。		(2)特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。	
(3)標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・施工検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等（条例含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）を優先する。		(3)標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・施工検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等（条例含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）を優先する。	
Ⅳ. 工 事 仕 様		Ⅴ. 工 事 仕 様	
1. 共通仕様		1. 共通仕様	
(1)特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」（ただし改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」）（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」（以下「標準図」という。）による。		(1)特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」（ただし改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」）（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」（以下「標準図」という。）による。	
(2)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。		(2)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。	
ア 公共事業労務費調査…工事に実施（調査票の記入提出、発注者実施への協力等）		ア 公共事業労務費調査…工事に実施（調査票の記入提出、発注者実施への協力等）	
イ 契約不適合調査…建設工事請負契約約款第4条6の5に定める期間内		イ 契約不適合調査…建設工事請負契約約款第4条6の5に定める期間内	
2. 特記仕様		2. 特記仕様	
(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。		(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。	
(2)特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。		(2)特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。	
(3)標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・施工検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等（条例含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）を優先する。		(3)標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・施工検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等（条例含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）を優先する。	
Ⅴ. 工 事 仕 様		Ⅵ. 工 事 仕 様	
1. 共通仕様		1. 共通仕様	
(1)特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」（ただし改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」）（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」（以下「標準図」という。）による。		(1)特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」（ただし改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」）（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準仕様書（電気設備工編）（令和4年版）」（以下「標準図」という。）による。	
(2)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。		(2)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。	
ア 公共事業労務費調査…工事に実施（調査票の記入提出、発注者実施への協力等）		ア 公共事業労務費調査…工事に実施（調査票の記入提出、発注者実施への協力等）	
イ 契約不適合調査…建設工事請負契約約款第4条6の5に定める期間内		イ	





屋上防水塗装工事に伴い避雷導体の取外し再取付を行う。
T型接続端子及び取付金物(導線クリップ)は撤去新設とする。
(屋根導線取付金物本体は既設再利用とする)
JIS規格の変更は行わない為、現状復旧を原則とする事

東側立面図 1:200



屋上防水塗装工事に伴い避雷導体の取外し再取付を行う。
T型接続端子及び取付金物(導線クリップ)は撤去新設とする。
(屋根導線取付金物本体は既設再利用とする)
JIS規格の変更は行わない為、現状復旧を原則とする事

南側立面図 1:200